

KASUMIGAURA
CITY 2022

消 防 年 報

かすみがうら市消防本部

市 章



水辺や野山にいつまでも鳥が訪れる豊かな美しいまちのイメージとともに、かすみがうら市の未来へのはばたきを象徴しています。青を基調とした色使いと二重の輪は霞ヶ浦そのものと新しく誕生した市域の調和を表しています。

シンボルデザイン



市の花・・・紫陽花（あじさい）

小さな花が一つに集まり、さまざまな土地に順応して大きな花を咲かせる姿に、市民の和と繁栄への願いを込めています。



市の木・・・栗（くり）

古くから栽培され、全国有数の産地として知られており、枝もたわわに実る姿に、豊かな恵みへの願いを込めています。



市の鳥・・・鶯（うぐいす）

春を告げる鳥として、心を和ませてくれる美しい鳴き声に、明るく希望にみちた将来への願いを込めています。

平成 19 年 12 月 1 日制定

かすみがうら市公式キャラクター



かすみがうらにゃ

猫という人の暮らしに身近な動物をモチーフにしたキャラクターで、湖をイメージした帽子と帆型の耳は霞ヶ浦に浮かぶ帆引き船を表現しています。また、シャツには全国に誇れる各種の果物を描き、手足にはアクセントとして山桜の花を配置させ、キャラクター全体で地域性をアピール。そして、市の花である「あじさい」の羽は地域の飛躍を象徴しています。

かすみがうら市市民憲章

霞ヶ浦と常陸野の豊かなめぐみを受けるわたしたちかすみがうら市民は、魅力あるまちをめざして、ここに市民憲章をさだめます。

- 1 自然を愛し、水とみどりの美しいまちをつくりましょう。
- 1 互いに助け合い、安心して暮らせるまちをつくりましょう。
- 1 スポーツと文化に親しみ、うるおいのあるまちをつくりましょう。
- 1 伝統がいき、若い力がのびるまちをつくりましょう。
- 1 みんながかがやき、活力あふれるまちをつくりましょう。

平成 19 年 10 月 1 日制定

かすみがうら市プロフィール

かすみがうら市は、わが国第2位の面積を誇る湖「霞ヶ浦」と筑波山系の南麓にはさまれ、首都東京へ約 70 km，県都水戸市へ約 30 km，筑波研究学園都市へ約 10 km の距離に位置しています。

幹線交通網として、JR 常磐線，千代田石岡インターチェンジが置かれている常磐自動車道，国道 6 号線，国道 354 号線を有するなど，立地条件に恵まれた田園都市です。

かすみがうら市の大部分は、標高 25m 前後の常陸台地で、西端の標高約 380m の山々から霞ヶ浦湖畔の低地へと続くなだらかな地形を有し、距離は南北に約 16 km，東西に約 19.5 km，総面積は（霞ヶ浦水面の面積 37.82k m²を含み）156.60 k m²となります。

台地には、梨や栗などの畑や平地林，低地には、水稻やレンコンなどの水田が広がり、また、霞ヶ浦沿岸ではワカサギやシラウオなどの内水面漁業も行われています。さらに、JR 常磐線の神立駅周辺や幹線道路沿いでは、商業・業務系や住居系の市街地が形成され、都市化が進展しています。

市の産業は、レンコンや果樹，内水面漁業など全国有数シェアを誇る農林水産業と立地条件に恵まれて集積してきた商工業がバランスよく発展しています。



は し が き

本書は、当消防本部の現勢及び令和３年中の消防業務について収録し、今後の参考とするとともに、消防の現況を広く一般に紹介するために編集したものです。

なお、各統計の予算に関するものは会計年度、その他は暦年によることを原則として作成しましたが、これによらないものは頭注に表示しました。

令和４年５月

かすみがうら市消防本部

目 次

消防機関の名称・配置	9
現在までの人口及び世帯数の推移	10
かすみがうら市消防のあゆみ	11, 12, 13

総 務

かすみがうら市の消防組織	15
消防本部事務分掌	16, 17
消防署事務分掌	18, 19
所属別・階級別人員配置状況	20
消防職員階級別・年齢別状況	20
職員の特殊技能資格保持者状況	21
消防職員の教育状況	22
消防予算	23

警 防（消防）

火災発生状況	25
過去3年間火災件数	26
署別・月別火災件数	26
原因別火災件数	27
火災・救急・救助以外の出場件数	27
火災概況	28, 29

警 防（救急・救助）

月別・事故種別救急出場件数	31
救急出場件数の推移	32
事故種別救急活動状況	33
年齢別・事故種別搬送人員	34

傷病程度別搬送人員	・ ・ ・ ・ ・	34
署別・事故種別救急出場件数及び搬送人員	・ ・ ・	35
曜日別救急出場件数	・ ・ ・ ・ ・	35
覚知別救急出場件数	・ ・ ・ ・ ・	36
傷病程度別搬送人員の推移	・ ・ ・ ・ ・	37
医療機関別搬送人員	・ ・ ・ ・ ・	38
医療機関搬送先状況	・ ・ ・ ・ ・	38
救助活動状況	・ ・ ・ ・ ・	39
救助出場状況	・ ・ ・ ・ ・	39
救助出場件数	・ ・ ・ ・ ・	39
署別普通救命講習会	・ ・ ・ ・ ・	40
応急手当普及啓発活動の推移	・ ・ ・ ・ ・	40
ドクターヘリ運用推移	・ ・ ・ ・ ・	41
ドクターカー運用推移	・ ・ ・ ・ ・	41

予 防

防火対象物の現況及び立入検査状況	・ ・ ・ ・ ・	43
建築同意事務処理状況	・ ・ ・ ・ ・	44
消防用設備等設置届出状況	・ ・ ・ ・ ・	44
防火管理者選任等の現況	・ ・ ・ ・ ・	45
火災予防条例による届出状況	・ ・ ・ ・ ・	46
危険物施設の現況及び立入検査状況	・ ・ ・ ・ ・	47
危険物施設の許可・認可届出状況	・ ・ ・ ・ ・	47

消 防 施 設

消防車両の現勢	・ ・ ・ ・ ・	49
消防車両等の配置状況	・ ・ ・ ・ ・	50
消防水利の現況	・ ・ ・ ・ ・	50
通信指令装置の機器構成表	・ ・ ・ ・ ・	51
消防通信系統図	・ ・ ・ ・ ・	52

無線一覧	53
気象状況	54

消 防 団

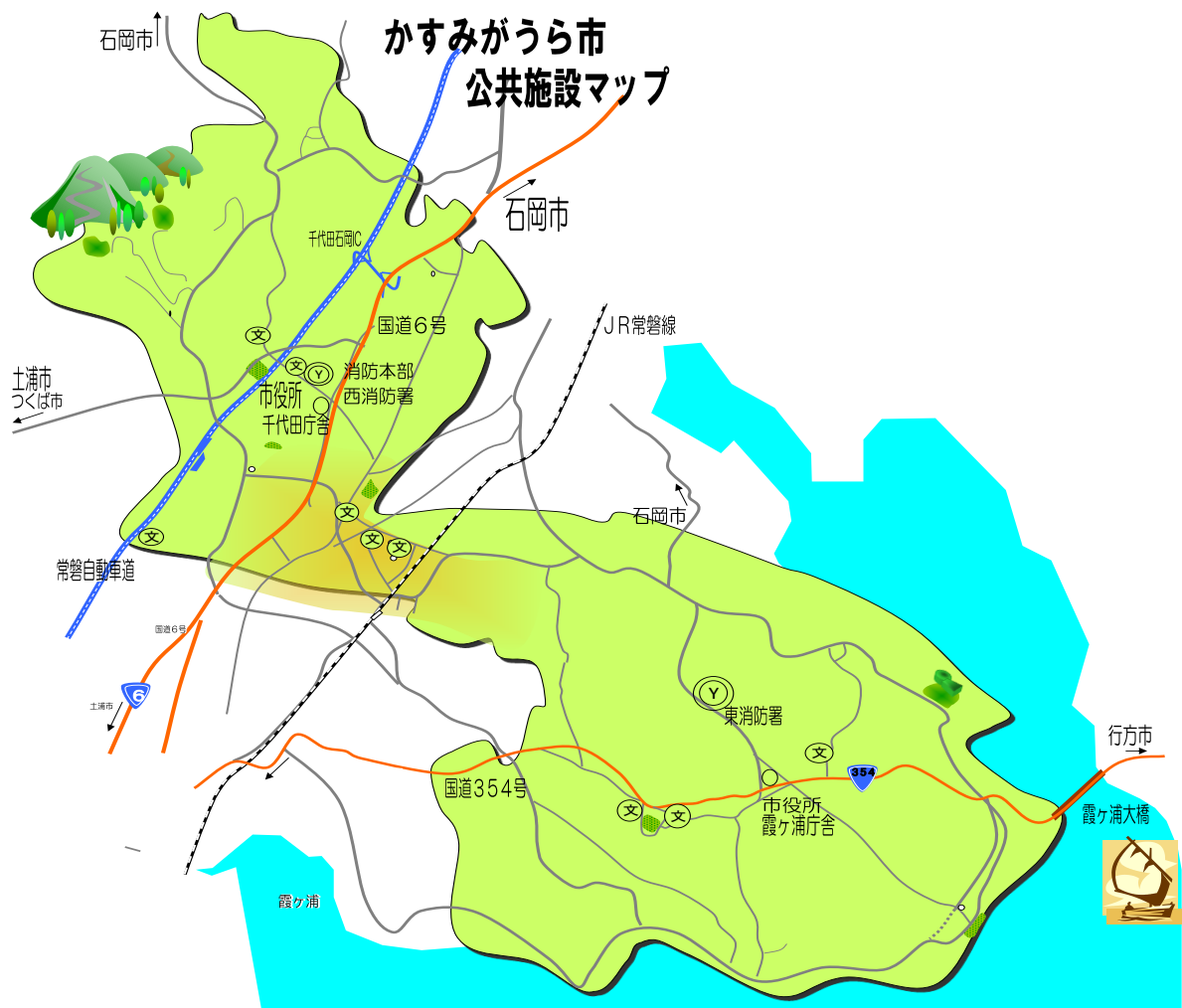
分団別人員配置状況	56
階級別年齢状況	56
担当地区及び詰所・車庫	57
配置車両	58

防 火 団 体

かすみがうら市幼少年女性防火委員会の組織	60
クラブ設置状況	61
かすみがうら市防火安全協会	62

消防機関の名称・配置

名称	位 置	建築構造	面積 (㎡)			建築年月
			建築面積	延べ面積	敷地面積	
消防本部	かすみがうら市 上土田 501 番地	鉄筋 コンクリート 2 階建	641.99	744.11	4,990.00	昭和 52 年 10 月
西消防署						
東消防署	かすみがうら市 穴倉 2410 番地 6	鉄筋 コンクリート 1 階建	504.06	448.06	3,817.84	昭和 54 年 12 月



現在までの人口の推移

(人)

年 別	かすみがうら市
H30. 4. 1	42, 413
H31. 4. 1	42, 060
R2. 4. 1	41, 483
R3. 4. 1	40, 951
R4. 4. 1	40, 622

住民基本台帳：外国人含む

現在までの世帯数の推移

(世帯)

年 別	かすみがうら市
H30. 4. 1	17, 108
H31. 4. 1	17, 367
R2. 4. 1	17, 498
R3. 4. 1	17, 624
R4. 4. 1	17, 803

住民基本台帳：外国人世帯含む

かすみがうら市消防のあゆみ

平成17年	3月28日	地方自治法第7条に基づく廃置分合により、霞ヶ浦町・千代田町が合併し、かすみがうら市発足 初代かすみがうら市消防団長に田崎進氏就任する
平成18年	2月20日	地方自治法第7条に基づく廃置分合により、新治地方広域事務組合消防本部を解散し新たに消防吏員74名、事務職員1名がかすみがうら市に採用となるかすみがうら市消防本部発足 平成17年10月1日に新治地方広域事務組合消防本部消防長に就任した岡崎勉氏が、初代かすみがうら市消防長に就任する
平成18年	3月14日	職員定数101名に条例改正（平成18年3月議会）
平成18年	4月1日	消防吏員4名採用 職員数80名 1名の事務職員が市長事務部局へ出向、市長事務部局から3名の事務職員が消防本部へ出向 消防本部事務機構の改革を行い、総務課に「消防団係」を設置し消防団事務を開始、3課8係に改正 緊急消防援助隊（救急隊、消火隊の2隊）として消防庁に登録
平成18年	5月2日	救急救命士法（平成3年法律第36号）施行後かすみがうら市として8人目の救急救命士誕生する
平成19年	3月22日	高規格救急自動車（トヨタハイメディック）1台購入し、西消防署へ配置
平成19年	4月1日	消防吏員4名採用 職員数83名 2名の事務職員が市長事務部局へ出向、市長事務部局から1名の事務職員が消防本部へ出向
平成19年	5月2日	救急救命士法（平成3年法律第36号）施行後かすみがうら市として9人目の救急救命士誕生する
平成20年	4月1日	消防吏員4名採用 職員数84名 1名の事務職員が市長事務部局へ出向、市長事務部局から1名の事務職員が消防本部へ出向
平成20年	4月2日	第2代かすみがうら市消防団長に藤枝多美男氏就任する
平成20年	4月22日	救急救命士法（平成3年法律第36号）施行後かすみがうら市として10人目、11人目の救急救命士誕生する
平成21年	4月1日	消防吏員3名採用 職員数84名
平成21年	5月7日	救急救命士法（平成3年法律第36号）施行後かすみがうら市として12人目、13人目の救急救命士誕生する
平成22年	2月18日	高規格救急自動車（トヨタハイメディック）1台購入し、東消防署へ配置
平成22年	4月1日	第2代かすみがうら市消防長に井坂沢守氏就任する 消防吏員3名採用 職員数84名 2名の事務職員が市長事務部局へ出向、市長事務部局から2名の事務職員が消防本部へ出向
平成22年	4月1日	消防本部事務機構等の改革を行い、指令課を新たに加え、総務課の名称を消防総務課に変更し、4課8係に改正

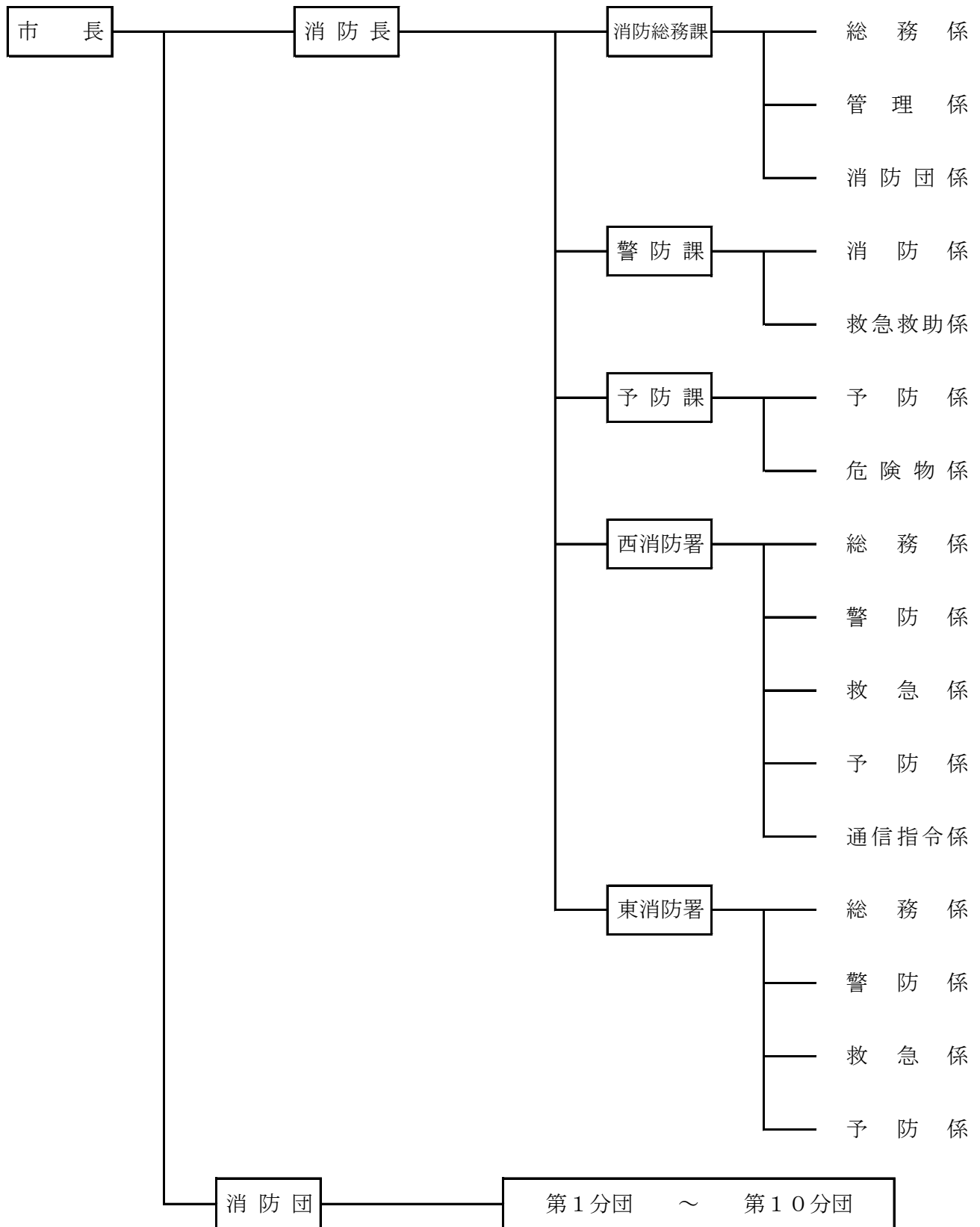
平成22年	4月	2日	第3代かすみがうら市消防団長に藤井裕一氏就任する
平成22年	4月	28日	救急救命士法（平成3年法律第36号）施行後かすみがうら市として14人目、15人目の救急救命士誕生する
平成22年	9月	1日	職員数 83名 1名の事務職員が市長事務部局へ出向
平成23年	3月	11日	水槽付消防ポンプ自動車（BDG-GX7JGWA 改）1台購入し、西消防署へ配置
平成23年	4月	1日	職員数 80名
平成23年	4月	28日	救急救命士法（平成3年法律第36号）施行後かすみがうら市として16人目、17人目の救急救命士誕生する
平成23年	12月	26日	水槽付消防ポンプ自動車（SDG-GX7JGAA 改）1台購入し、東消防署へ配置
平成24年	4月	1日	職員数 79名 1名の消防吏員が市長事務部局へ出向 消防団組織再編により10分団54部2班体制から10分団21部体制に移行する
平成24年	4月	27日	救急救命士法（平成3年法律第36号）施行後かすみがうら市として18人目、19人目の救急救命士誕生する
平成24年	10月	1日	消防吏員3名採用 職員数 82名
平成24年	10月	10日	指揮車（セレナ）1台を購入し、消防本部へ配置
平成25年	4月	1日	消防吏員3名採用職員数 83名 採用職員1名救急救命士有資格者、救急救命士法（平成3年法律第36号）施行後かすみがうら市として20人目の救急救命士誕生する 消防本部事務機構の改革を行い、指令課の業務を警防課に移管し、3課8係に改正
平成25年	4月	16日	救急救命士法（平成3年法律第36号）施行後かすみがうら市として21人目、22人目、23人目の救急救命士誕生する
平成26年	2月	12日	消防ポンプ自動車（TKG-XZU685）1台購入し、東消防署に配置
平成26年	4月	1日	消防吏員2名採用 職員数 82名
平成26年	5月	1日	救急救命士法（平成3年法律第36号）施行後かすみがうら市として24人目、25人目の救急救命士誕生する 消防本部事務機構の改革を行い、指令課を新たに加え、4課8係に改正
平成26年	12月	7日	総務省消防庁から無償貸付として貸与された、救助資機材搭載型消防ポンプ自動車1台をかすみがうら市消防団第8分団第1部に配置
平成27年	3月	31日	救急救命士法（平成3年法律第36号）施行後かすみがうら市として26人目、27人目の救急救命士誕生する
平成27年	4月	1日	消防吏員5名採用 職員数 85名 採用職員2名救急救命士有資格者、救急救命士法（平成3年法律第36号）施行後かすみがうら市として28人目、29人目の救急救命士誕生する 1名の消防吏員が茨城県生活環境部防災・危機管理局 消防安全課へ実務研修出向 1名の消防吏員がいばらき消防指令センターへ派遣出向
平成28年	4月	1日	消防吏員6名採用 職員数 87名 第4代かすみがうら市消防団長に磯部潤一氏就任する

平成28年 6月 1日	いばらき消防指令センターが整備され、県内 20 消防本部による共同運用を開始する
平成28年 9月23日	高規格救急自動車（トヨタハイメディック）1台購入し、西消防署へ配置
平成28年12月19日	指揮車（エクストレイル）1台を購入し、東消防署へ配置
平成29年 4月 1日	第3代かすみがうら市消防長に雨貝忠氏就任する 消防吏員5名採用 職員数88名 消防本部事務機構の改革を行い、指令課の業務を警防課に移管し、3課8係に改正
平成29年 9月25日	指揮車（エクストレイル）1台を購入し、西消防署へ配置
平成30年 3月15日	救助工作車（SDG-GX7JGAA 改）1台を購入し、西消防署へ配置
平成30年 4月 1日	消防吏員4名採用 職員数89名
平成30年12月19日	資機材搬送車（2KG-XZU720M）1台を購入し、消防本部へ配置
平成30年12月21日	消防団指揮車（キャラバン）1台を購入し、消防本部へ配置
平成30年12月26日	査察車1台（ハイエース）を購入し、消防本部へ配置
平成31年 4月 1日	消防吏員4名採用 職員数84名（内再任用2名） 1名の消防吏員がいばらき消防指令センターへ派遣出向 1名の消防吏員が茨城県防災航空隊へ派遣出向 第5代かすみがうら市消防団長に酒井正一氏就任する 採用職員2名救急救命士有資格者、救急救命士法（平成3年法律第36号）施行後かすみがうら市として30人目、31人目の救急救命士誕生する
令和元年10月17日	連絡車1台（プリウスα）を購入し、消防本部へ配置
令和2年 1月 9日	広報車1台（クリッパー）を購入し、消防本部へ配置
令和2年 2月25日	高規格救急自動車（トヨタハイメディック）1台購入し、東消防署へ配置
令和2年 3月31日	救急救命士法（平成3年法律第36号）施行後かすみがうら市として32人目の救急救命士誕生する
令和2年 4月 1日	第4代かすみがうら市消防長に片岡修氏就任する 消防吏員4名採用 職員数84名（内再任用3名） 採用者1名救急救命士有資格者、救急救命士法（平成3年法律第36号）施行後かすみがうら市として33人目の救急救命士誕生する
令和2年12月23日	高規格救急自動車（トヨタハイメディック）1台購入し、西消防署へ配置
令和3年 3月31日	救急救命士法（平成3年法律第36号）施行後かすみがうら市として34人目の救急救命士誕生する
令和3年 4月 1日	消防吏員5名採用 職員数85名（内再任用3名） 1名の消防吏員が日本消防協会へ派遣出向する
令和4年 2月 1日	消防ポンプ車（ZKG-XZU685）1台をリースにて契約し、西消防署へ配置
令和4年 4月 1日	消防吏員4名採用 職員数83名 1名の消防吏員がいばらき消防指令センターへ派遣出向する

総 務

- 1 かすみがうら市の消防組織
- 2 消防本部事務分掌
- 3 消防署事務分掌
- 4 所属別・階級別人員配置状況
- 5 消防職員階級別・年齢別状況
- 6 職員の特殊技能資格保持者状況
- 7 消防職員の教育状況
- 8 消防予算

かすみがうら市の消防組織



消防本部事務分掌

課	係	分掌事務
消防総務課	総務係	1 消防事務の企画及び総合調整に関すること。
		2 消防組織及び分掌事務に関すること。
		3 公印の保管に関すること。
		4 消防関係例規の制定及び改廃に関すること。
		5 職員の任免，賞罰，服務その他身分に関すること。
		6 文書の收受，発送及び保存に関すること。
		7 職員の健康管理及び福利厚生に関すること。
		8 職員の人事及び給与に関すること。
		9 職員の勤務時間及び休暇等に関すること。
		10 職員の公務災害補償に関すること。
		11 職員の研修に関すること。
		12 消防統計に関すること。
		13 各種証明に関すること。
		14 消防職員委員会に関すること。
	管理係	1 予算及び決算に関すること。
		2 職員の給貸与品に関すること。
		3 消防施設の整備及び管理に関すること。
		4 起債及び補助事業に関すること。
		5 物品の購入，保管及び出納に関すること。
		6 消防用財産に関すること。
		7 消防水利の整備に関すること。
消防団係	消防団係	1 消防団の組織運用に関すること。
		2 消防団の任免，表彰及び報酬等に関すること。
		3 消防団の公務災害補償に関すること。
		4 消防団の福利厚生及び健康管理に関すること。
		5 消防団の教養訓練に関すること。
		6 消防協会に関すること。
警防課	消防係	1 水火災その他の災害の警戒及び防ぎよに関すること。
		2 地域防災計画に関すること。
		3 消防計画及び警防計画に関すること。
		4 消防相互応援協定に関すること。
		5 消防車両等の運行管理に関すること。
		6 消防機械器具の研究及び技術指導に関すること。
		7 火災統計に関すること。
		8 消防水利の保全に関すること。
		9 震災対策に関すること。
		10 都市計画法に基づく開発行為の指導に関すること。
		11 幼少年女性防火委員会に関すること。
		12 いばらき消防指令センターに関すること。

	救急救助係	1 救急救助技術の研究及び指導に関する事。 2 救急隊員及び救助隊員の教養訓練に関する事。 3 救急救助統計に関する事。 4 応急手当の普及啓発に関する事。 5 救急救助資機材の管理に関する事。 6 患者等搬送事業の育成指導に関する事。 7 メディカルコントロール協議会に関する事。
予防課	予防係	1 火災予防施策の計画、立案に関する事。 2 建築物の確認、許可及び認可の同意に関する事。 3 消防用設備等、特殊消防用設備等の設置及び指導に関する事。 4 防火対象物の表示、公表に関する事。 5 防火管理に関する事。 6 消防広報に関する事。 7 防火対象物の予防査察に関する事。
	危険物係	1 危険物の規制に関する事。 2 危険物の火災予防に関する事。 3 高圧ガス施設等の火災予防に関する事。 4 防火安全協会に関する事。

消防署事務分掌

係	分掌事務
総務係	1 職員の勤務、休暇及び服務に関する事。 2 職員の健康管理及び福利厚生に関する事。 3 職員の教育訓練に関する事。 4 職員の貸与品に関する事。 5 文書の収受、発送及び保存に関する事。 6 公印の管守に関する事。 7 表彰に関する事。 8 消防統計に関する事。 9 経理及び物品の出納管理に関する事。 10 庁舎及び付属施設の管理に関する事。 11 消防団に関する事。
警防係	1 火災、その他の災害の警戒及び活動に関する事。 2 警防計画及び訓練に関する事。 3 火災原因及び損害の調査に関する事。 4 警防調査に関する事。 5 火災統計に関する事。 6 火災の証明に関する事。 7 消防水利に関する事。 8 消防用資機材の管理に関する事。 9 都市計画法に基づく開発行為の指導に関する事。 10 空気充填所の管理に関する事（西消防署に限る）。 11 消防クラブ及び防火クラブに関する事。 12 その他警防業務に関する事。
救急係	1 救急救助の警戒及び活動に関する事。 2 救急救助の訓練に関する事。 3 応急手当の普及啓発に関する事。 4 救急の証明に関する事。 5 救急救助の統計に関する事。 6 救急救助用資機材の管理に関する事。 7 その他救急救助に関する事。
予防係	1 防火思想の普及啓発に関する事。 2 防火管理に関する事。 3 消防用設備等、特殊消防用設備等の設置指導及び検査に関する事。 4 予防査察に関する事。 5 火災予防条例の届出及び検査に関する事。 6 消防広報に関する事。 7 予防統計に関する事。 8 自衛消防組織の育成指導に関する事。 9 自主防災組織の指導に関する事。 10 その他予防業務に関する事。

通信指令係 (西消防署 に限る)	1	火災，救急その他の出場指令及び通信統制に関すること。
	2	通信機器の運用及び管理に関すること。
	3	火災その他の災害及び救急情報の収集に関すること。
	4	気象情報の収集及び伝達に関すること。
	5	火災警報発令に関すること。

所属別・階級別人員配置状況

令和4年4月1日現在

所属別		階級別										計
		消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	指令センター派遣	防災航空隊派遣	日本消防協会派遣	再任用	
消防長		1(1)										1(1)
次 長												
消防本部	消防総務課		2(2)	3(2)	2	2		1				10(4)
	警防課		2(2)	2	2	2						8(2)
	予防課		2(2)	2(1)	2	2						8(3)
西消防署			5(1)	9	4	5	10(1)					33(2)
東消防署			3(1)	8	6	2	4(2)					23(3)
合 計		1(1)	14(8)	24(3)	16	13	14(3)	1				83(15)

() 内は日勤者

本 部	日勤者	10名
	隔日勤務者	16名
	派遣職員	1名
消 防 署	日勤者	5名(消防学校初任科研修3名含む)
	隔日勤務者	51名

消防職員階級別・年齢別状況

令和4年4月1日現在

年齢	階級	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計
20 才 未 満							4	4
20才～24才						9	10	19
25才～29才					2	3		5
30才～34才				3	12	2		17
35才～39才				12	1			13
40才～44才			2	6				8
45才～49才			7	3				10
50才～54才			2	1				3
55 才 以 上		1	3					4
合 計		1	14	25	15	14	14	83

() 内は再任用職員

職員の特殊技能資格保持者状況

令和4年4月1日現在

階 級 資 格		合 計	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	事 務 職 員
自 動 車 運 転 免 許	大 型 1 種	61	1	14	23	12	11		
	中 型 1 種 (8 t 限 定)	39	1	14	23	1			
	中 型 1 種	14			2	9	3		
	準 中 型 1 種	2						2	
	準 中 型 1 種 (5 t 限 定)	23				14	8	1	
	普 通 1 種	15					5	10	
消 防 設 備 士	甲 種	0							
	乙 種	3		1	2				
危 険 物 取 扱 免 許	甲 種	0							
	乙 種	60		3	21	13	13	10	
小 型 船 舶	1 級	1			1				
	2 級	17	1	6	6	3		1	
衛 生 管 理 者		5		2	3				
移 動 式 ク レ ー ン		42		7	19	11	5		
玉 掛 技 能		51	1	10	22	12	5	1	
陸上特殊無線技能	2 級	34		14	19	1			
	3 級	45			6	15	13	11	
チェンソー取扱者		7			3	3	1		
救 急 救 命 士		30		5	16	4	3	2	
気 管 挿 管		15		5	10				
JPTEC インストラクター		11		3	6	2			
JPTEC プロバイダー		22			10	11	1		
BLS インストラクター		1			1				
BLS プロバイダー		17		3	9	1	2	2	
ACLS プロバイダー		4		3	1				
MCLS インストラクター		3			3				
MCLS プロバイダー		33		12	15	5	1		
BLSO プロバイダー		4			3	1			
足 場 作 業 責 任 者		4		1	3				
ガ ス 溶 接 技 能		8		2	3	2		1	
酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者		13		3	5	2	2	1	
潜 水 士		11		3	5	3			
特定化合物質等作業主任者		6		2	4				
ロープレスキュー		17		1	3	10	3		
アリゾナボーテックス		14		2	3	5	4		
ロープ高所作業講習		3			1	2			
墜落制止用器具講習		17			5	6	6		

消防職員の教育状況

令和4年4月1日現在

年度別 教養科目別			平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	計
消防大学 学校	上級幹部科					0
	幹部科					0
	警防科					0
	救急科					0
	救助科					0
	予防科					0
	火災調査科			1		1
	危機管理・国民保護コース					0
茨城県立 消防学校	初任教育		4	4	5	13
	専科 教育	警防科	1	1		2
		特殊災害科	1			1
		予防査察科	1			1
		危険物科		1		1
		火災調査科	1	1		2
		救急科	4	1	2	7
		救助科	1	1		2
	特別 教育	水難救助課程	1	1	1	3
		操法指導者研修会	4			4
救急救命 研修所	救急救命士研修課程 (東京都)		1			1
	救急救命士研修課程 (九州)					0
	指導救命士育成研修 (九州)					0
計			19	11	8	38

消防予算

令和3年度かすみがうら市一般会計歳出予算

款	区分	金額（千円）	構成比
1	議会費	143,028	0.74%
2	総務費	2,018,326	10.43%
3	民生費	6,357,839	32.84%
4	衛生費	1,836,421	9.49%
5	労働費	54,172	0.28%
6	農林水産業費	833,367	4.30%
7	商工費	513,450	2.65%
8	土木費	1,522,945	7.87%
9	消防費	879,734	4.54%
10	教育費	3,122,295	16.13%
11	災害復旧費	2	0.01%
12	公債費	2,028,421	10.48%
13	予備費	50,000	0.26%
合 計		19,360,000	100%

【9款消防費】

目	区分	金額（千円）	構成比
1	常備消防費	673,938	76.61%
2	非常備消防費	67,685	7.69%
3	消防施設整備費	36,328	5.30%
4	災害対策費	101,783	11.57%
合 計		879,734	100%

警 防（消防）

- 1 火災発生状況
- 2 過去3年間火災件数
- 3 署別・月別火災件数
- 4 原因別火災件数
- 5 火災・救急・救助以外の出場件数
- 6 火災概況

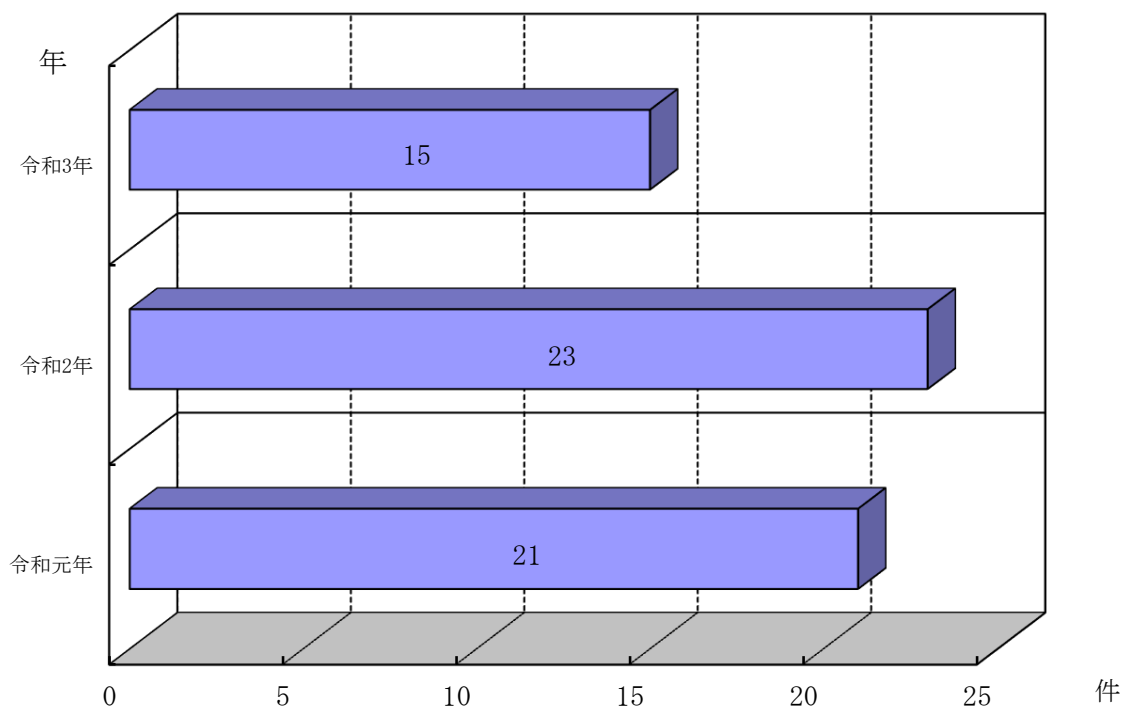
火災発生状況

月 別	署 別			火 災 種 別				焼 損 棟 数					焼 損 面 積		死傷者数		り 災 世 帯 数				り 災 者 数	計	損 害 見 積 額(千円)			
	計	西 消 防 署	東 消 防 署	建 物	林 野	車 両	そ の 他	計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	建 物 ㎡	林 野 アール	死 者	負 傷 者	計	全 損	半 損	小 損			建 物	林 野	車 両	そ の 他
1	1		1	1				1			1		5				0					110	110			
2	4	1	3		1	1	2	0						223			0					3,902			3,888	14
3	1	1				1		0						10			0					1			1	
4	0							0									0					0				
5	1	1		1				1				1					0					296	296			
6	0							0									0					0				
7	2	2		1			1	1			1					1	0					0				
8	2	1	1	1			1	1				1					0					85,438	84,346			1,092
9	0							0									0					0				
10	1	1		1				4	2		2		285				1	1			4	17,013	15,457		100	1,456
11	0							0									0					0				
12	3	2	1	1			2	1				1		152	1		1			1	4	82	82			
合計	15	9	6	6	1	2	6	9	2	0	4	3	290	385	1	1	2	1	0	1	8	106,842	100,291	0	3,989	2,562

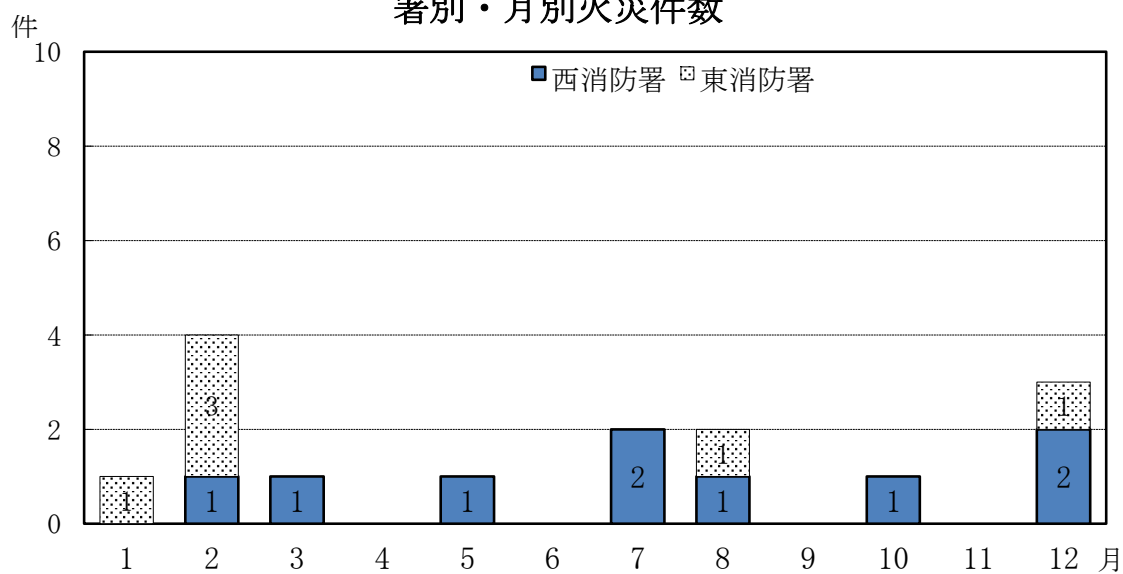
署	9	西消防署	4		1	4	7	2		3	2	285	346			2	1			8	18,508	15,835	10	101	2,562
別	6	東消防署	2	1	1	2	2			1	1	5	39	1		0					88,344	84,456		3,888	

「火災」とは、人の意図に反して発生し若しくは拡大し、又は放火により発生して消火の必要がある燃焼現象であって、これを消火するために消火施設又はこれと同程度の効果のあるものの利用を必要とするもの、又は人の意図に反して発生し若しくは拡大した爆発現象をいう。過去3年間におけるかすみがうら市内の火災件数は下表の通りである。

過去3年間火災件数

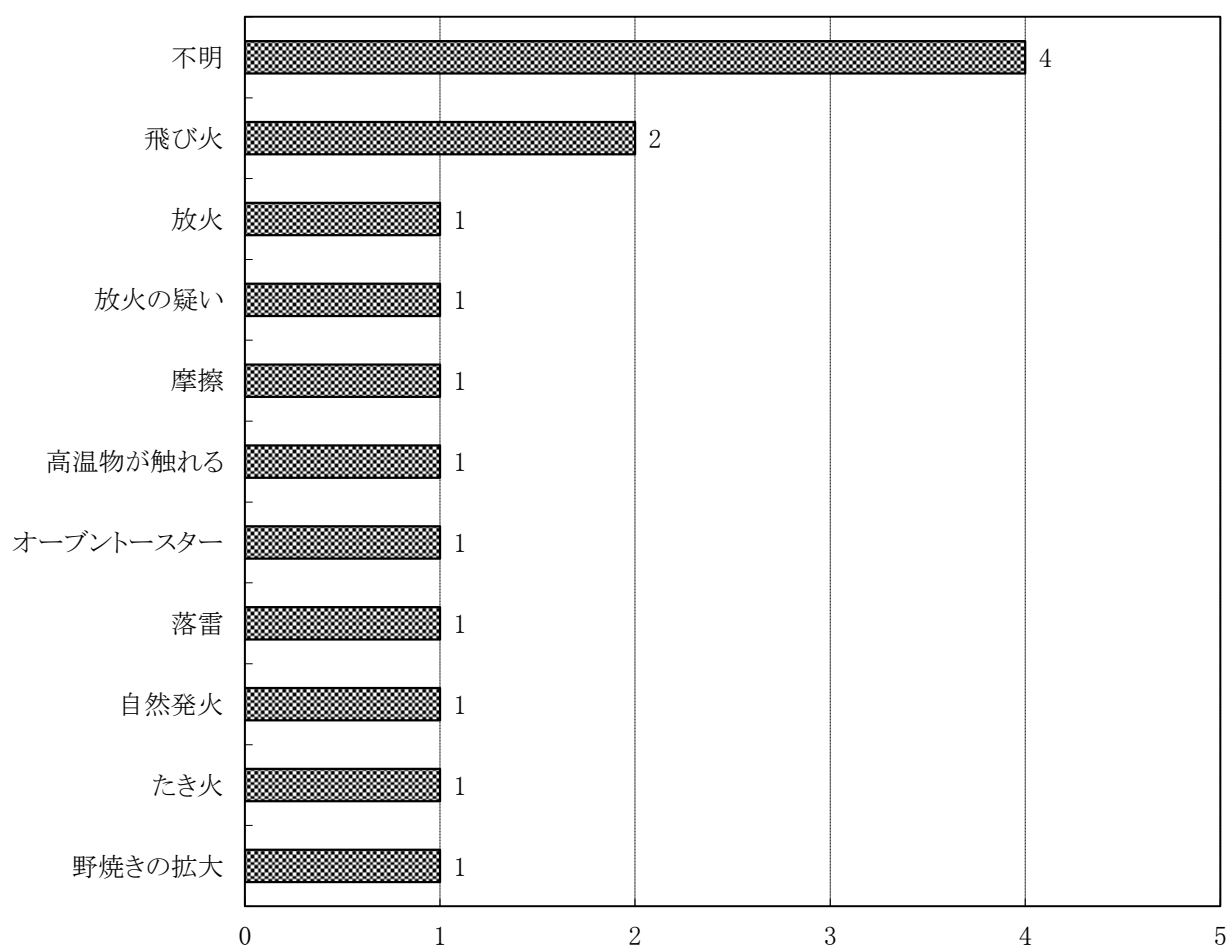


署別・月別火災件数



出火件数を四季別でみると第1四半期（1月～3月）6件、第2四半期（4月～6月）1件、第3四半期（7月～9月）4件、第4四半期（10月～12月）、4件となっている。火災は火気使用頻度の多い冬から春先にかけて多く、高温、多湿の夏季は比較的火災が少ないのが例年の状況である。

原因別火災件数



火災・救急・救助以外の出場件数

署 別 出場種別	計	西消防署	東消防署
非 火 災	11	9	2
危 険 排 除	45	26	19
怪 煙 偵 察	10	9	1
誤 報	5	1	4
管 外	3	3	0
そ の 他	485	297	188
計	559	345	214

火災概況

令和3年

火災 番号	出 火 時 刻		鎮 火 時 分	覚知方法	火災種別	出 火 場 所	火 元 の 用 途 又 は 物 件	焼損面積	焼 損 棟 数				損 害 額 (千円)	死 傷 者		り 災	
	月 日	時 分							全焼	半焼	部分	ぼや		死者	傷者	世帯	人員
1	1月10日	12:20	13:14	専用 携帯	建物	かすみがうら市深谷地内	養畜舎	木造2階建トタン葺鳩小屋延べ51.03㎡ のうち1階部分4.86㎡焼損			1		110				
2	2月7日	13:00	16:56	専用 携帯	その他	かすみがうら市高倉地内	下草	ビニールハウス一部焼損 排水管 下草184a消失 トタン小屋6.48㎡焼損 立木3本焼損 フェンス一部焼損					14				
3	2月8日	14:15	16:15	専用 携帯	林野	かすみがうら市上大堤地内	普通林(私有)	杉林及び篠林38a焼損									
4	2月24日	22:00	23:38	専用 携帯	その他	かすみがうら市西成井地内	下草	下草1a焼損									
5	2月27日	9:55	10:59	専用 携帯	車両	かすみがうら市栄倉地内	植物材資源化 粉碎機	植物材資源化粉碎機1台焼損					3,888				
6	3月27日	14:35	15:07	専用 携帯	車両	かすみがうら市新治地内	乗用草刈り機	乗用草刈機1台及び水田の枯 草、葦10a焼損					1				
7	5月20日	14:00	15:13	専用 固定	建物	かすみがうら市上稲吉地内	工場	分散機の断熱材一部焼損				1	296				
8	7月25日	14:00	16:34	専用 携帯	建物	かすみがうら市上稲吉地内	工場	排気ダクト16.75m			1		0		1		
9	7月30日	11:10	11:34	専用 固定	その他	かすみがうら市下土田地内	墓地	下草0.42a消失及び立木の焼損					0				
10	8月8日	5:40	10:14	専用 固定	建物	かすみがうら市加茂地内	工場	廃棄物処理施設2号棟内廃木材 チップ製造設備焼損				1	84,346				
11	8月28日	14:25	15:16	専用 携帯	その他	かすみがうら市上土田地内	電柱	電気配線2本及び 被覆蛇腹ホース焼損					1,092				
12	10月4日	12:10	15:44	専用 固定	建物	かすみがうら市上志筑地内	物置	木造2階建瓦葺物置82.64㎡ 木造2階建瓦葺住宅188.35㎡全焼 木造平屋建瓦葺住宅55.37㎡のうち表面欄干焼損 木造平屋建車 庫表面欄干46㎡焼損 ビニールハウスの収容物及び軽自動車1台 焼損	2		2		17,013			1	4
13	12月7日	17:45	18:03	専用 携帯	建物	かすみがうら市稲吉東二丁目地内	住宅	木造2階建瓦葺住宅のオーブントースター内 の食品が焼損し台所吊り棚下面0.4㎡焼損				1	82			1	4
14	12月16日	11:20	11:35	専用 固定	その他	かすみがうら市下大堤地内	身体	女性1名焼死						1			

火災概況

令和3年

火災 番号	出 火 時 刻		鎮 火 時 分	覚知方法	火災種別	出 火 場 所	火 元 の 用 途 又 は 物 件	焼損面積	焼 損 棟 数				損 害 額 (千円)	死 傷 者		り 災	
	月 日	時 分							全焼	半焼	部分	ぼや		死者	傷者	世帯	人員
15	12月30日	10:30	14:15	専用 固定	その他	かすみがうら市新治地内	田畑	下草152a焼失及び立木焼損									

警 防（救急・救助）

- 1 月別・事故種別救急出場件数
- 2 救急出場件数の推移
- 3 事故種別救急活動状況
- 4 年齢別・事故種別搬送人員
- 5 傷病程度別搬送人員
- 6 署別・事故種別救急出場件数及び搬送人員
- 7 曜日別救急出場件数
- 8 覚知別救急出場件数
- 9 傷病程度別搬送人員の推移
- 10 医療機関別搬送人員
- 11 医療機関搬送先状況
- 12 救助活動状況
- 13 救助出場状況
- 14 救助出場件数
- 15 署別普通救命講習会
- 16 応急手当普及啓発活動の推移
- 17 ドクターヘリ運用推移
- 18 ドクターカー運用推移

月別・事故種別救急出場件数

月別	署 別		事 故 種 別											計
	西 消 防 署	東 消 防 署	火 災 事 故	自 然 災 害 事 故	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害 事 故	運 動 競 技 事 故	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	
1	72 (2)	62	1	0	0	13 (2)	0	0	23	0	3	93	1	134 (2)
2	83	47	0	0	0	17	2	0	18	1	0	90	2	130 0
3	70	58	2	0	0	9	4	0	22	0	3	87	1	128 0
4	82	44	0	0	0	15	1	0	21	0	3	86	0	126 0
5	94 (2)	62	4	0	0	12 (1)	1	0	30	0	1	106 (1)	2	156 (2)
6	83 (1)	69	0	0	0	6	1	0	30	1	3 (1)	108	3	152 (1)
7	94	78	7	0	0	9	2	2	26	0	3	121	2	172 0
8	105	75	2	0	0	12	4	0	21	0	0	136	5	180 0
9	81	52	0	0	0	16	1	0	13	0	1	98	4	133 0
10	86 (3)	71	1	0	0	14 (2)	3	0	31	1	0	102 (1)	5	157 (3)
11	80	45	1	0	0	12	1	1	19	0	2	89	0	125 0
12	94 (1)	81	2	0	1	17	1	0	25	3	2	123 (1)	1	175 (1)
合計	1,024 (9)	744 0	20 0	0 0	1 0	152 (5)	21 0	3 0	279 0	6 0	21 (1)	1,239 (3)	26 0	1,768 (9)

※ 下段（ ）内は、高速道路の出場件数を表す。

署 別	西 消 防 署	16	0	0	89	10	3	147	1	13	728	17	1,024
	東 消 防 署	4	0	1	63	11	0	132	5	8	511	9	744

救急出場件数の推移

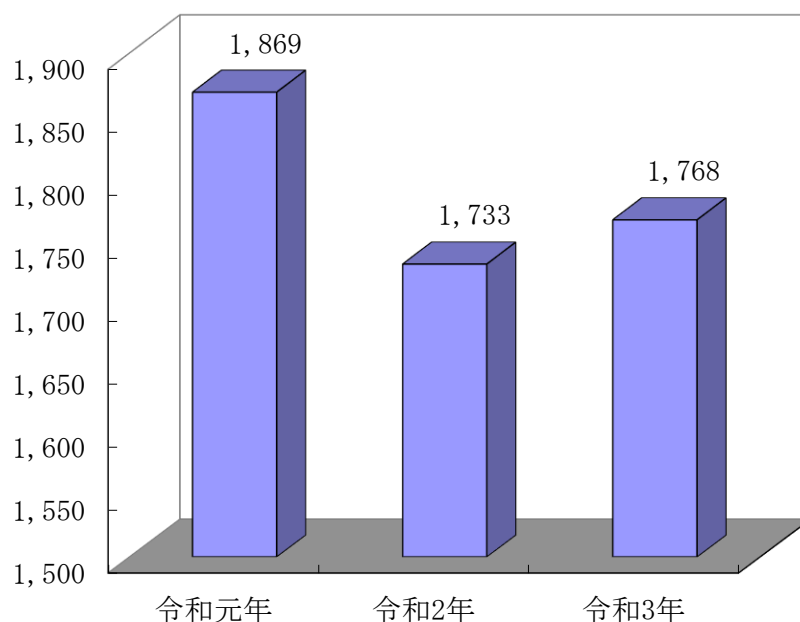
年 別	事故種別 出 場 件 数	火 災 事 故	自然災害事 故	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害 事 故	運 動 競 技 事 故	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
令和元年	1,869	25	2	1	161	24	12	298	6	16	1,305	19
令和2年	1,733	15	0	2	156	27	1	303	4	11	1,190	24
令和3年	1,768	20	0	1	152	21	3	279	6	21	1,239	26

救急業務は、昭和38年に市町村の消防機関の事務として法制化され、平成3年8月には、プレホスピタル・ケア充実のため、救急隊員の行う救急処置の範囲が拡大されるとともに、高度な応急処置を行う救急救命士の制度が設けられた。

平成15年4月から、救急救命士が行う処置は順次拡大され、救命率の向上を目指した救急業務の高度化が推進されている。過去3年間におけるかすみがうら市内の救急出場件数は下表のとおりである。

令和3年における市内の救急業務実施状況は、救急出動件数1,768件、搬送人員1,666人であり、1日平均約4.8件の割合で救急隊が出動し、市民の約23人に1人が搬送されたことになる。昨年と比較すると35件増加した。

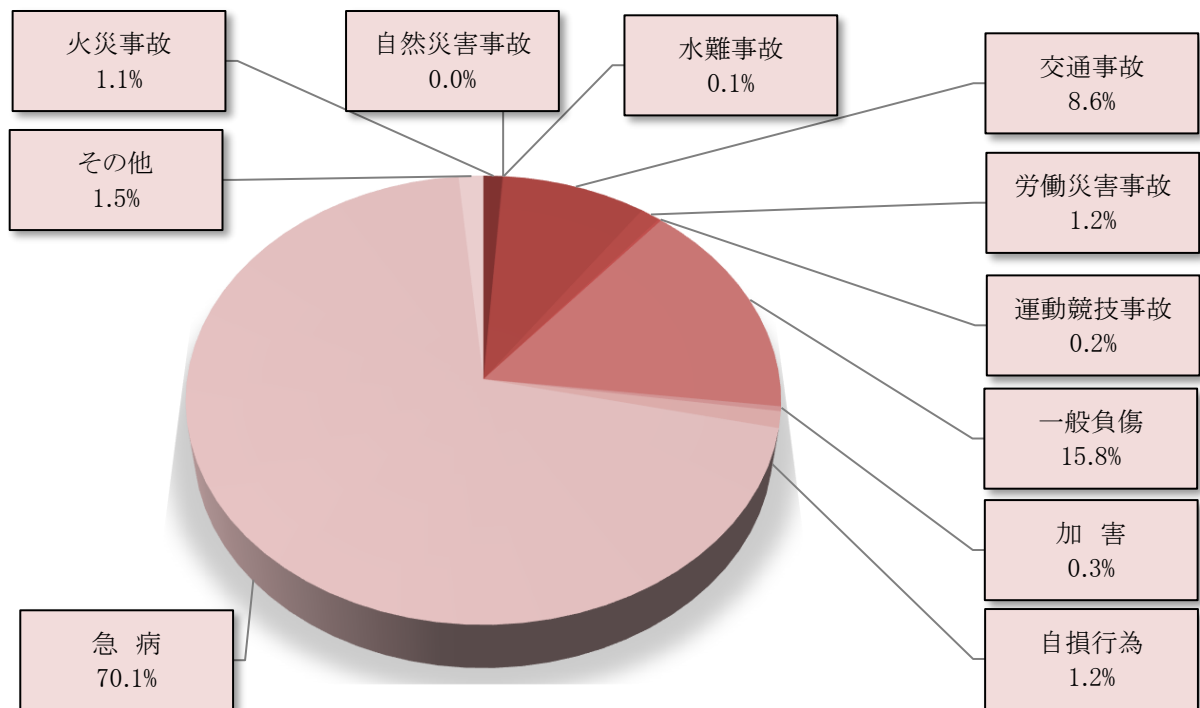
令和2年中に救急出場及び搬送人員が減少した理由については、新型コロナウイルス感染症の拡大に衛生意識の向上や不要不急の外出自粛といった国民の行動変容により、急病、交通事故及び一般負傷の減少につながったことなどが考えられると総務省消防庁から報告されている。また、令和3年中の救急出場件数については、前年と比べ微増しているが、デルタ株の第5波が収束してから年末にかけての帰省や旅行などの人流が再開したことと、オミクロン株の感染力の強さにより第6波で急速な感染拡大が原因になっていると思われる。



事故種別救急活動状況

種 別 出場・搬送	合 計	火 災 事 故	自 然 災 害 事 故	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害 事 故	運 動 競 技 事 故	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
出 場 件 数	1,768	20	0	1	152	21	3	279	6	21	1,239	26
搬 送 件 数	1,643	1	0	1	145	21	3	265	6	13	1,174	14
不 搬 送 件 数	125	19	0	0	7	0	0	14	0	8	65	12
搬 送 人 員	1,666	1	0	1	164	21	3	267	6	13	1,176	14

事故種別救急出場件数



事故種別の定義

- 火 災 事 故 ・ ・ 火災現場において直接火災に起因して生じた事故をいう
- 自 然 災 害 事 故 ・ ・ 暴風，豪雨，豪雪，洪水，高潮，地震，津波，噴火，雪崩，地すべりその他異常な自然現象に起因する災害による事故をいう
- 水 難 事 故 ・ ・ 水泳中の溺者又は水中転落等による事故をいう
- 交 通 事 故 ・ ・ すべての交通機関相互の衝突及び接触又は単一事故若しくは歩行者が交通機関と接触したことなどによる事故をいう
- 労 働 災 害 事 故 ・ ・ 各種工場，事業所，作業場，工事現場等において就業中発生した事故をいう
- 運 動 競 技 事 故 ・ ・ 運動競技の実施中に発生した事故で直接運動競技を実施している者，審判員及び関係者等の事故をいう
- 一 般 負 傷 ・ ・ 他に分類されない不慮の事故をいう
- 加 害 ・ ・ 故意に他人によって傷害等を加えられた事故をいう
- 自 損 行 為 ・ ・ 故意に自分自身に傷害等を加えた事故をいう
- 急 病 ・ ・ 疾病によるもので救急業務として行ったものをいう
- そ の 他 ・ ・ 転院搬送，医師搬送，医薬資器材等輸送，その他の種別に分類不能のもの並びに誤報及びいたづらをいう

年齢別・事故種別搬送人員

種 別 性別・年齢	合 計	火 災 事 故	自 然 災 害 事 故	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害 事 故	運 動 競 技 事 故	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
男	892	1	0	1	96	18	3	115	4	5	641	8
女	774	0	0	0	68	3	0	152	2	8	535	6
合 計	1,666	1	0	1	164	21	3	267	6	13	1,176	14
新 生 児 (生後28日以内)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
乳 幼 児 (29日～7歳未満)	42	0	0	0	7	0	0	7	0	0	28	0
少 年 (7歳～18歳未満)	42	0	0	0	10	0	2	13	1	1	15	0
成 人 (18歳～65歳未満)	541	1	0	0	112	14	1	58	4	11	332	8
老 人 (65歳以上)	1,041	0	0	1	35	7	0	189	1	1	801	6

傷病程度別搬送人員

種 別 程 度 別	合 計	火 災 事 故	自 然 災 害 事 故	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害 事 故	運 動 競 技 事 故	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
死 亡	30	0	0	1	1	0	0	1	0	1	26	0
重 症	134	0	0	0	7	3	0	8	0	2	112	2
中 等 症	737	1	0	0	46	10	0	110	2	9	548	11
軽 症	765	0	0	0	110	8	3	148	4	1	490	1
そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	1,666	1	0	1	164	21	3	267	6	13	1,176	14

死 亡・・・初診時において死亡が確認されたもの。

重 症・・・傷病の程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの。

中等症・・・傷病の程度が入院加療を必要とし、その期間が3週間未満のもの。

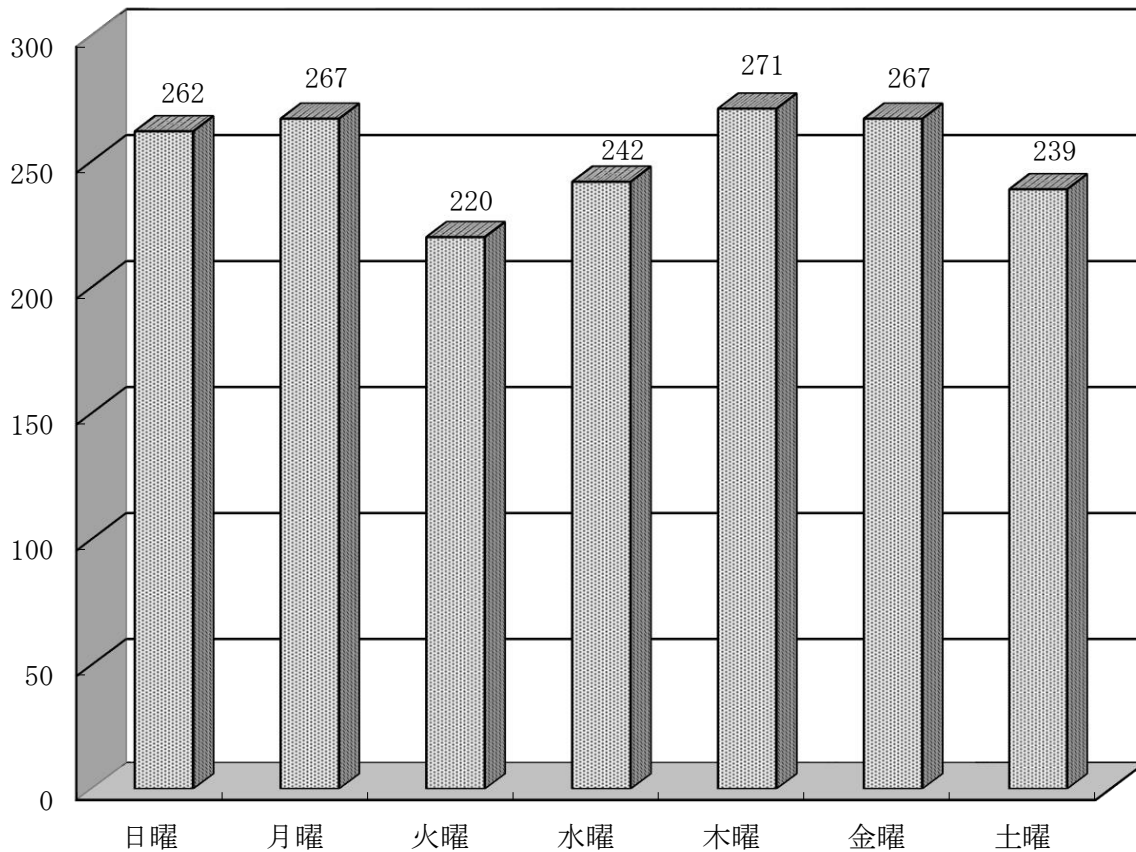
軽 症・・・傷病の程度が入院加療を必要としないもの。

その他・・・診察拒否等、医師の診断がないもの。

署別・事故種別救急出場件数及び搬送人員

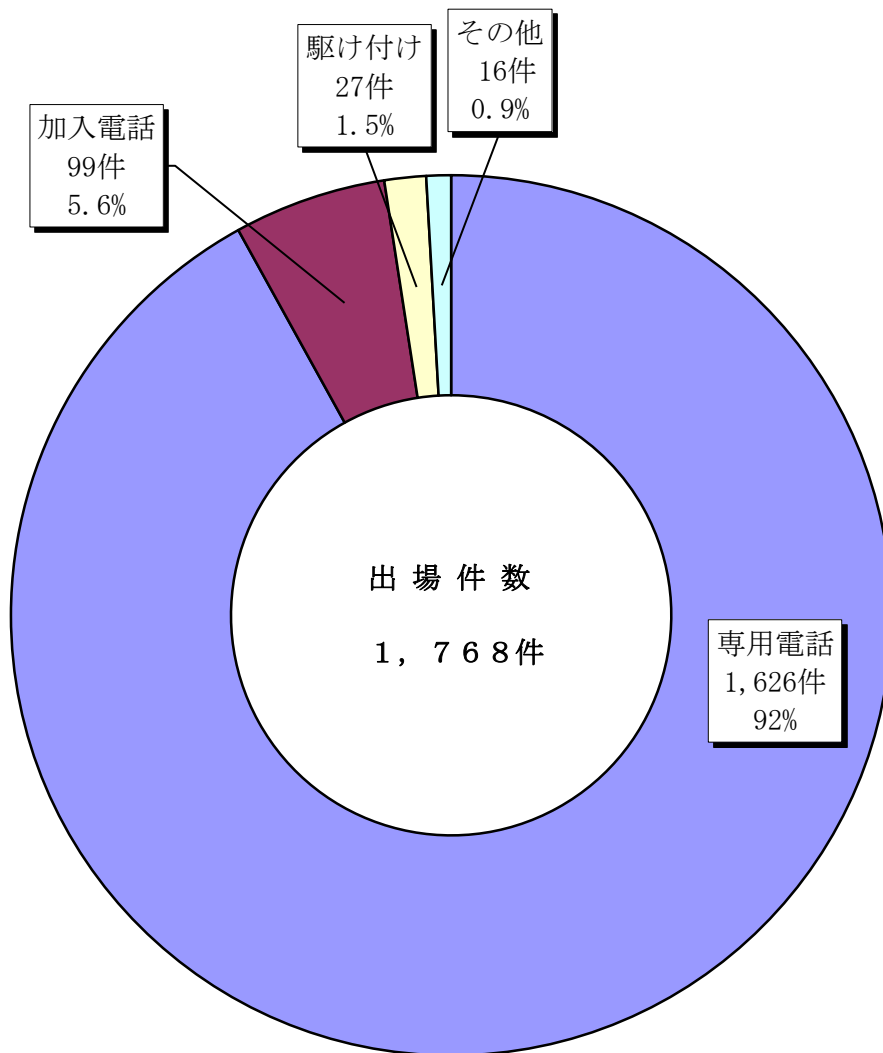
事故種別 署別		火災事故	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技事故	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				合計
												転送	医師搬送	医薬資器材等輸送	その他	
西消防署	出場	16	0	0	89	10	3	147	1	13	728	11	0	0	6	1,024
	搬送	1	0	0	95	10	3	141	1	9	694	11	0	0	0	965
東消防署	出場	4	0	1	63	11	0	132	5	8	511	3	0	0	6	744
	搬送	0	0	1	69	11	0	126	5	4	482	3	0	0	0	701
合計	出場	20	0	1	152	21	3	279	6	21	1,239	14	0	0	12	1,768
	搬送	1	0	1	164	21	3	267	6	13	1,176	14	0	0	0	1,666

曜日別救急出場件数

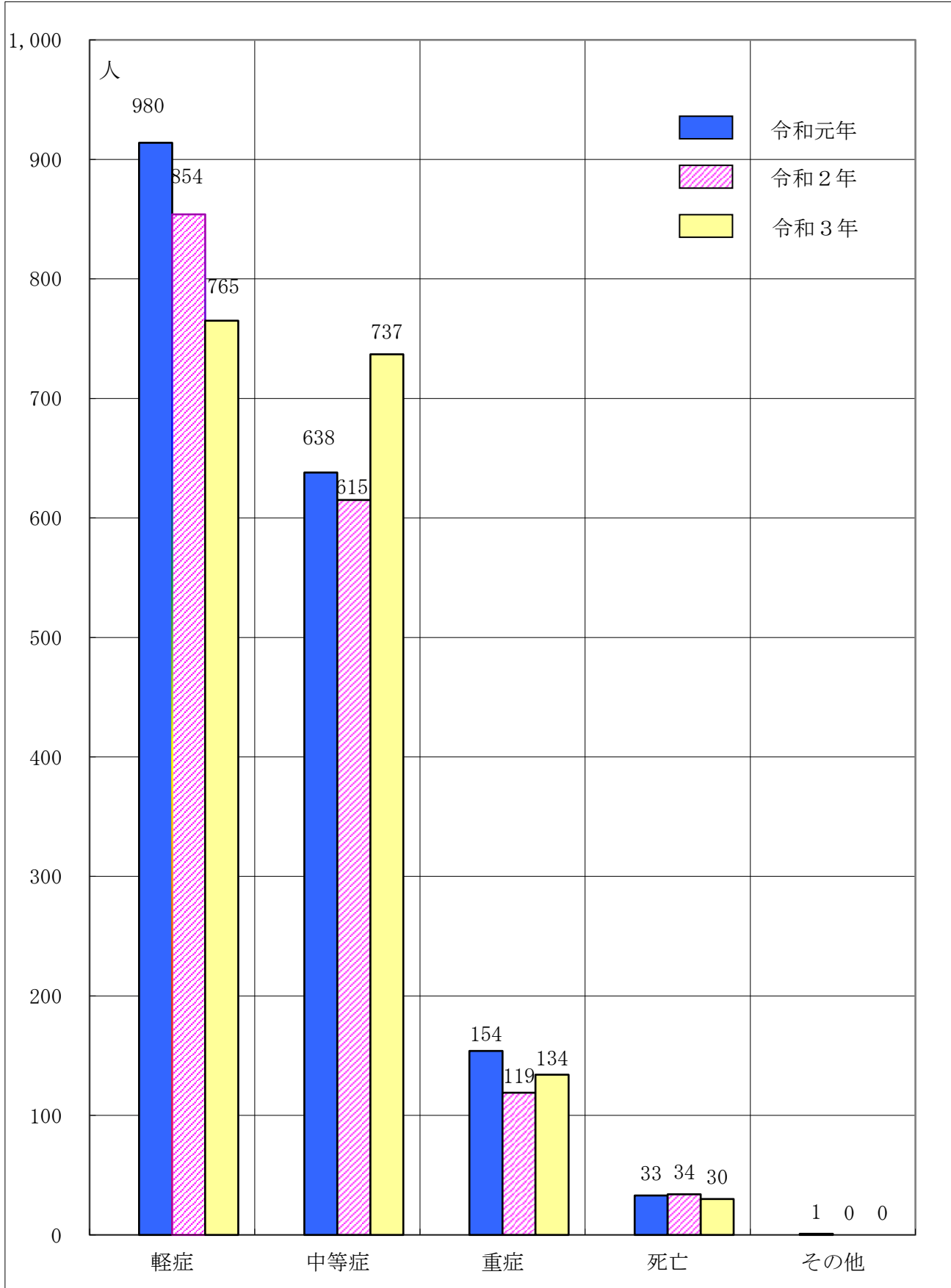


覚知別救急出場件数

覚知別 事故種別	合 計	専 用 電 話	加 入 電 話	駆 け 付 け	そ の 他
急 病	1,239	1,141	76	21	1
交 通	152	130	8	0	14
一 般 負 傷	279	263	12	4	0
そ の 他	98	92	3	2	1
合 計	1,768	1,626	99	27	16



傷病程度別搬送人員の推移



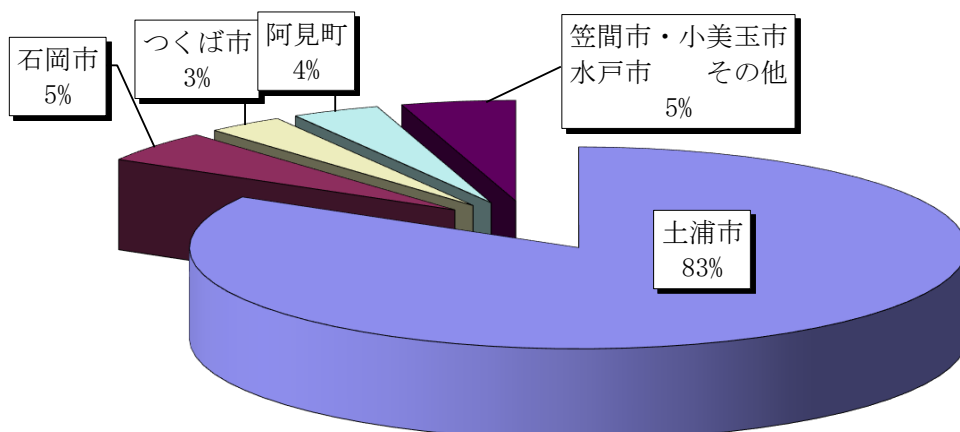
医療機関別搬送人員

市 町 村 別	事故種別 病院別	火 災 事 故	自 然 災 害 事 故	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害 事 故	運 動 競 技 事 故	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
土 浦 市	土 浦 協 同 病 院	1		1	78	12		154	4	12	764	13	1,039
	神 立 病 院				43	4	2	67			122		238
	霞ヶ浦医療センター				3	1		9			83		96
	そ の 他 の 病 院				1			5			10		16
石 岡 市	山 王 台 病 院				11	1		6		1	54		73
	石 岡 第 一 病 院				1	1	1				8		11
	石 岡 医 師 会 病 院												0
	そ の 他 の 病 院												0
つ く ば 市	筑波メディカルセンター病院				2	1		2			12		17
	筑波大学附属病院				1			2			21		24
	筑波記念病院				1			1			9		11
	そ の 他 の 病 院										1		1
阿見町	東京医大茨城医療センター				7			6	1		47		61
	そ の 他 の 病 院												0
笠間市	茨城県立中央病院				3						1		4
小美玉市	石岡循環器科脳神経外科病院				8	1		15	1		39		64
水戸市	水 戸 医 療 セ ン タ ー				3						2		5
	水 戸 済 生 会 病 院				2								2
	そ の 他										3	1	4
合 計		1	0	1	164	21	3	267	6	13	1,176	14	1,666

(人)

医療機関別に搬送人員をみると、土浦協同病院が最も多く1,039人で次いで神立病院の238人となっている。
また、市町村別医療機関の搬送人員をみると、土浦市内の医療機関への搬送が84%とほぼ大半を占めている。

医療機関搬送先状況



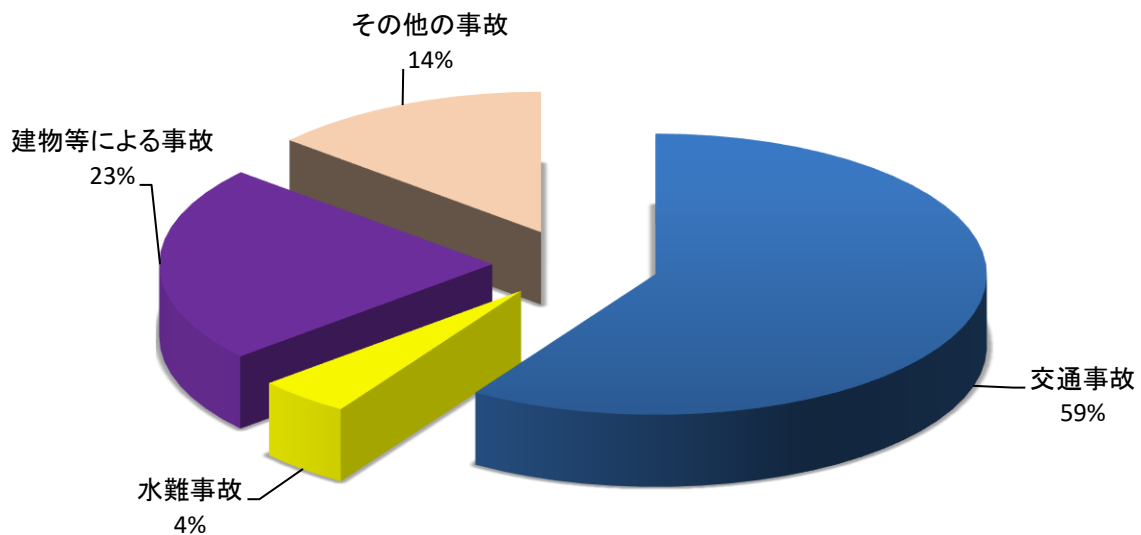
救助活動状況

令和3年における当消防本部の救助活動状況は、出場件数22件のうち活動件数は13件、救出した人員は15人でした。原因別に見ると交通事故による出場件数が最も多く13件、次いで建物等による事故となっています。昨年と比べると、交通事故は増加し、水難事故、建物等による事故の出場件数に増減はなく、機械による事故、その他の事故の出場件数は減少したという結果になりました。

救助出場状況

事故種別 区分	火 災		交通 事 故	水 難 事 故	自然 災 害 事 故	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 事 故	酸 欠 事 故	爆 発 事 故	そ の 他 の 事 故	計
	建物	建 物 以 外										
出 場 件 数	0	0	13	1	0	0	5	0	0	0	3	22
出 場 人 員	0	0	152	11	0	0	46	0	0	0	29	238
活 動 件 数	0	0	7	1	0	0	3	0	0	0	2	13
活 動 人 員	0	0	87	0	0	0	36	0	0	0	15	138
救 出 人 員	0	0	10	1	0	0	2	0	0	0	2	15

救助出場件数



署別普通救命講習会

署 別	講 習 種 目	回 数	受 講 者 数
西消防署	普通救命講習会入門コース	0	0
	普 通 救 命 講 習 会 I	6	32
	普 通 救 命 講 習 会 II	0	0
	普 通 救 命 講 習 会 III	5	21
	合 計	11	53
東消防署	普通救命講習会入門コース	0	0
	普 通 救 命 講 習 会 I	0	0
	普 通 救 命 講 習 会 II	0	0
	普 通 救 命 講 習 会 III	1	4
	合 計	1	4
合 計	普通救命講習会入門コース	0	0
	普 通 救 命 講 習 会 I	6	32
	普 通 救 命 講 習 会 II	0	0
	普 通 救 命 講 習 会 III	6	25
	合 計	12	57

◇普通救命講習会入門コース 90分講習（概ね10歳以上）

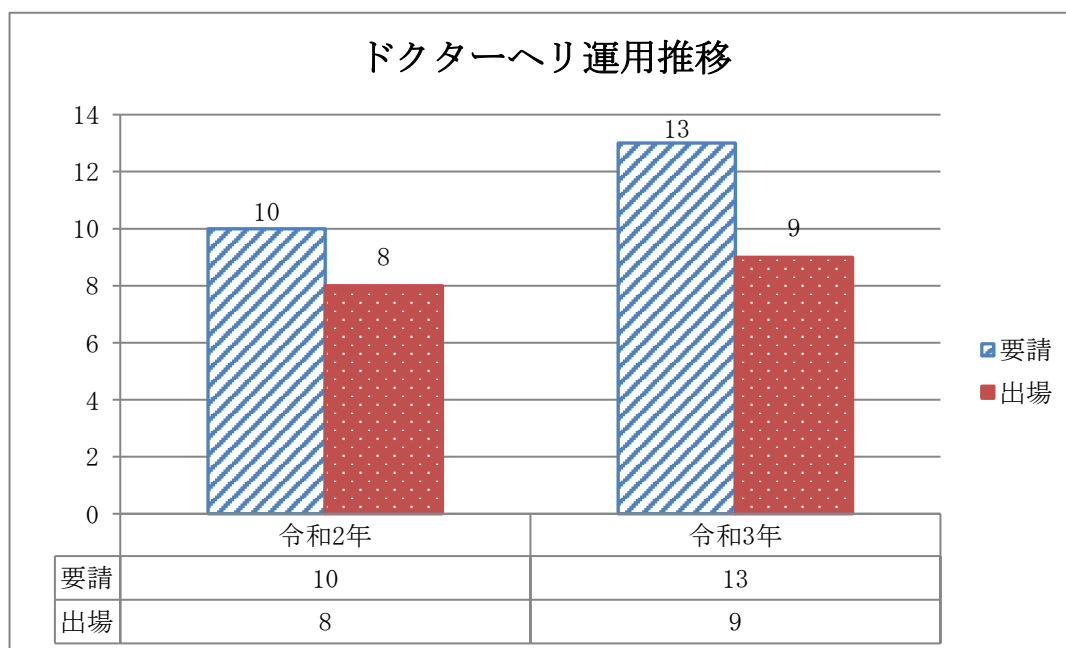
◇普通救命講習会Ⅰ 3時間講習（一般の方）

◇普通救命講習会Ⅱ 4時間講習（福祉施設、スポーツインストラクター等、仕事内容から一定の頻度で心肺停止者に対し、応急対応を期待される人）

◇普通救命講習会Ⅲ 3時間講習（保育士や小さなお子さんがいる母親など仕事や一般生活で小児、乳児、新生児の心肺停止者に対し応急対応を期待される人）

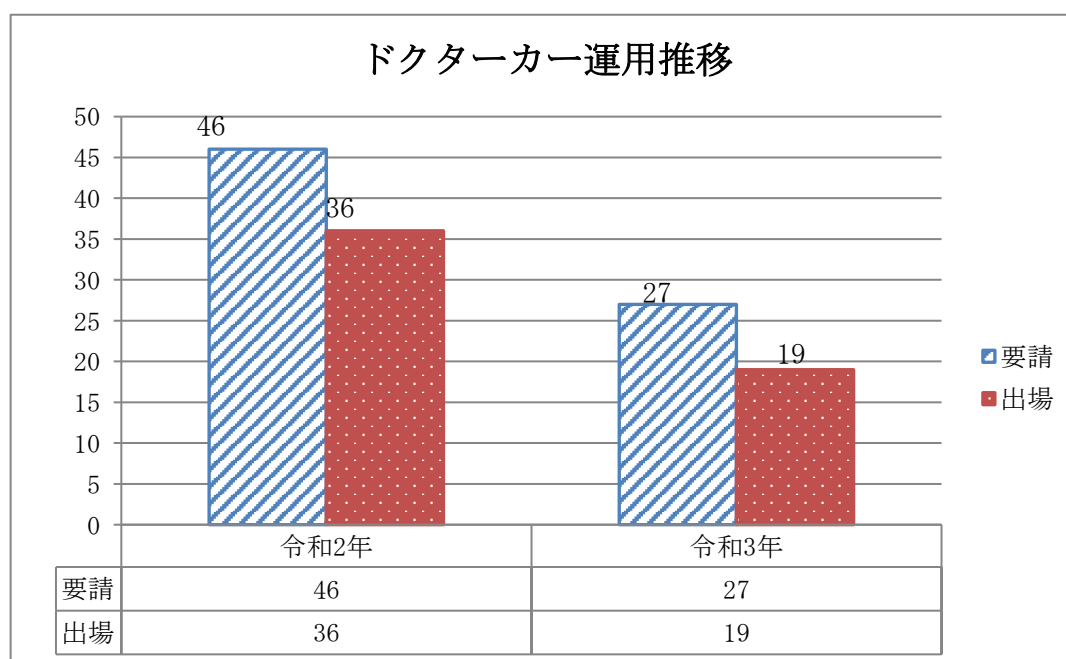
応急手当普及啓発活動の推移

講 習 種 目	平成30年		令和元年		令和2年		令和3年	
	回 数	受講者数	回 数	受講者数	回 数	受講者数	回 数	受講者数
普通救命講習会	28	674	21	504	0	0	12	57
一般救急講習会	16	1752	20	1259	0	0	6	131
合 計	44	2,426	41	1,763	0	0	18	188



救急現場において、以下の条項が認められているときに要請します。

- ・ 生命の危機が切迫しているか、その可能性があるとき
- ・ 重症患者であって搬送に長時間を要することが予想されるとき
- ・ 特殊救急患者（重症熱傷，多発外傷，四肢切断）で搬送時間の短縮を特に図るとき
- ・ 救急現場で緊急診断処置に医師を必要とするとき
- ・ 多発傷病者発生の場合



* ドクターヘリ・ドクターカー出場件数

令和3年におけるかすみがうら市への出場件数は以下のとおりである。

- ・ ドクターヘリ かすみがうら市への出場
（令和2年：8件 令和3年：9件）
- ・ ドクターカー かすみがうら市への出場
（令和2年：36件 令和3年：19件）

予 防

- 1 防火対象物の現況及び立入検査状況
- 2 建築同意事務処理状況
- 3 消防用設備等設置届出状況
- 4 防火管理者選任等の現況
- 5 火災予防条例による届出状況
- 6 危険物施設の現況及び立入検査状況
- 7 危険物施設の許可・認可届出状況

防火対象物の現況及び立入検査状況

令和3年度

用 途 別			防火対象物数	立入検査状況	実施率
1	イ	劇 場 又 は 映 画 館 等			
	ロ	公 会 堂 又 は 集 会 場	49	2	4.1%
2	イ	キャバレー又はカフェー			
	ロ	遊技場又はダンスホール	1		
	ハ	風 俗 営 業 等			
	ニ	個 室 型 店 舗 等			
3	イ	待 合 , 料 理 店 等			
	ロ	飲 食 店	26	1	3.8%
4		百 貨 店 , マ ー ケ ッ ト 等	56	17	30.4%
5	イ	旅館, ホテル又は宿泊所	7		
	ロ	寄 宿 舎 , 下 宿 又 は 共 同 住 宅	375		
6	イ	病院, 診療所又は助産所	19	1	5.3%
	ロ	老人短期入所施設, 養護老人ホーム等	35	22	62.9%
	ハ	老人デイサービスセンター, 保育所等	43	11	25.6%
	ニ	幼稚園又は特別支援学校	4		
7		小学校, 中学校又は高等学校	42		
8		図 書 館 , 博 物 館 , 美 術 館 等	4		
9	イ	蒸 気 浴 場 , 熱 気 浴 場 等			
	ロ	イ 以 外 の 公 衆 浴 場			
10		車 両 の 停 車 場 等			
11		神 社 , 寺 院 , 教 会 等	6		
12	イ	工 場 又 は 作 業 場	271	4	1.5%
	ロ	映画スタジオ, テレビスタジオ			
13	イ	自動車車庫又は駐車場	9	1	11.1%
	ロ	飛 行 機 等 の 格 納 庫			
14		倉 庫	333	1	0.3%
15		前各項に該当しない事業場	212	7	3.3%
16	イ	複合用途防火対象物(特定)	43	1	2.3%
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	34	1	2.9%
17		重 要 文 化 財 等	3		
合 計			1,572	69	4.4%

建築同意事務処理状況

令和3年度

種 別 \ 月 別		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
新	築	1	5	2	4	1	1	2	3	2	3	2	2	28
増	築	1		1					3			1		6
改	築										1			1
移	転													
修	繕													
模	様													
用	途													
そ	の				1				1					2
合	計	2	5	3	5	1	1	2	7	2	4	3	2	37

消防用設備等設置届出状況

令和3年度

種 別	届出数
消 火 器	51
屋 内 消 火 栓 設 備	8
ス プ リ ン ク ラ ー 設 備	2
水 噴 霧 消 火 設 備 等	1
屋 外 消 火 栓 設 備	4
動 力 消 防 ポ ン プ 設 備	
自 動 火 災 報 知 設 備	45
ガ ス 漏 れ 火 災 警 報 設 備	
漏 電 火 災 警 報 器	
消 防 機 関 へ 通 報 す る 火 災 報 知 設 備	2
非 常 警 報 (放 送) 設 備	6
避 難 器 具	3
誘 導 灯 (誘 導 標 識)	50
消 防 用 水	
排 煙 設 備	
連 結 散 水 設 備	
非 常 コ ン セ ン ト 設 備	
連 結 送 水 管	
合 計	172

防火管理者選任等の現況

令和3年度

用 途 別			該当事業所数	防火管理	選任率	消防計画
1	イ	劇 場 又 は 映 画 館 等				
	ロ	公 会 堂 又 は 集 会 場	44	11	25.0%	9
2	イ	キャバレー又はカフェー				
	ロ	遊技場又はダンスホール	1	1	100.0%	1
	ハ	風 俗 営 業 等				
	ニ	個 室 型 店 舗 等				
3	イ	待 合 , 料 理 店 等				
	ロ	飲 食 店	20	12	60.0%	7
4		百 貨 店 , マ ー ケ ッ ト 等	45	35	77.8%	26
5	イ	旅館, ホテル又は宿泊所	5	5	100.0%	4
	ロ	寄宿舍, 下宿又は共同住宅	12	7	58.3%	4
6	イ	病院, 診療所又は助産所	2	1	50.0%	1
	ロ	老人短期入所施設, 養護老人ホーム等	28	26	92.9%	25
	ハ	老人デイサービスセンター, 保育所等	18	18	100.0%	17
	ニ	幼稚園又は特別支援学校	1	0	0.0%	0
7		小学校, 中学校又は高等学校	13	13	100.0%	13
8		図書館, 博物館, 美術館等	2	2	100.0%	2
9	イ	蒸気浴場, 熱気浴場等				
	ロ	イ 以 外 の 公 衆 浴 場				
10		車 両 の 停 車 場 等				
11		神 社 , 寺 院 , 教 会 等	3	3	100.0%	2
12	イ	工 場 又 は 作 業 場	29	28	96.6%	25
	ロ	映画スタジオ, テレビスタジオ				
13	イ	自動車車庫又は駐車場				
	ロ	飛行機等の格納庫				
14		倉 庫	5	5	100.0%	4
15		前各項に該当しない事業場	25	23	92.0%	16
16	イ	複合用途防火対象物(特定)	29	21	72.4%	12
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	2	0	0.0%	0
17		重 要 文 化 財 等				
合 計			284	211	74.3%	168

火災予防条例による届出状況

令和3年度

種 別 \ 月 別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
防 火 対 象 物 使 用 開 始		6		2	5	2	5	3	2	4	5	6	40
炉 ・ か ま ど 設 備 等													0
厨 房 設 備													0
ボ イ ラ ー 設 備				2	1			1		1	1		6
乾 燥 設 備													0
サ ウ ナ 設 備													0
変 電 設 備	1		1	2		1	3	3			3	2	16
発 電 設 備				1						1		1	3
蓄 電 池 設 備											2		2
ネ オ ン 管 灯 設 備													0
水 素 ガ ス 管 灯 設 備													0
水素ガスを充てんする気球													0
火災とまぎわらしい行為	14	6	3	4	5	6	7	12	13	34	33	29	166
煙火の打上又は仕掛け		2			1		3						6
催 物 開 催										1	1		2
水道の断水又は減水													0
道 路 工 事	1	6	4	4	4	10	3	6	7	4	1	10	60
指 定 洞 道 等													0
少 量 危 険 物 貯 蔵 取 扱	2		1	1					1				5
指 定 可 燃 物 貯 蔵 取 扱					1	1		1					3
圧縮アセチレンガス・液化石油ガス等の貯蔵取扱	2	1		2		1		1	3	2	8		20
合 計	20	21	9	18	17	21	21	27	26	47	54	48	329

危険物施設の現況及び立入検査状況

令和3年度

種 別 区 別	製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所				合 計
		屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	給 油 取 扱 所	販 売 取 扱 所	移 送 取 扱 所	一 般 取 扱 所	
施 設 数	6	41	27	3	24	1	33	1	52			28	216
立 入 検 査 数							32						32
実 施 率	0%	0%	0%	0%	0%	0%	97%	0%	0%			0%	15%

危険物施設の許可・認可届出状況

令和3年度

種 別 区 別		製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所				合 計
			屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	給 油 取 扱 所	販 売 取 扱 所	移 送 取 扱 所	一 般 取 扱 所	
許可申請	設 置					1								1
	変 更	5	1			1				2			5	14
完成検査 申 請	設 置					1		1						2
	変 更	4	1			1				3			5	14
仮貯蔵仮取扱承認申請			1											1
予防規定 認可申請	制 定													0
	変 更	1		6						4			1	12
保安監督 者届出	選 任	2	3	10		1				7			2	25
	解 任	2	3	10						7			2	24
譲 渡 引 渡 届 出														0
廃 止 届 出			1			3							1	5
種類・指定数量変更届出			2					1						3
資 料 提 出 届		10	14	18		5				20			6	73
漏 洩 措 置 計 画														0
L P G に 係 る 意 見 書														0
合 計		24	26	44	0	13	0	2	0	43			22	174

消 防 施 設

- 1 消防車両の現勢
- 2 消防車両等の配置状況
- 3 消防水利の現況
- 4 通信指令装置の機器構成表
- 5 消防通信系統図
- 6 無線一覧
- 7 気象状況

消防車両の現勢

所 属	車 両 種 別	車 両 名	年 式	購 入 年 月 日	備 考
消 防 本 部	指 揮 車	日 産 セ レ ナ	H24	H24. 10. 10	
	連 絡 車	ト ヨ タ プ リ ウ ス a	R1	R1. 10. 17	
	査 察 車	ト ヨ タ ハ イ エ ー ス	H30	H30. 12. 26	
	広 報 車	日 産 ク リ ッ パ ー	R2	R2. 1. 9	
	団 指 揮 車	日 産 キ ャ ラ バ ン	H30	H30. 12. 21	
	資 機 材 搬 送 車	日 野 デ ュ ト ロ	H30	H30. 12. 19	
西 消 防 署	水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野 BDG-GX7JGWA 改	H23	H23. 3. 11	水 I -A型 A2級 CAFS付
	消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野 ZKG-XZU685	R4	リース契約 R4. 2. 1	CD- I 型 A2級 CAFS付
	化 学 消 防 ポ ン プ 自 動 車	い す ゞ KC-FSR33G4V	H9	H9. 11. 26	化 II 型
	救 助 工 作 車	日 野 SDG-GX7JGAA 改	H30	H30. 3. 15	救 II 型
	指 揮 車	日 産 エクストレイル	H29	H29. 9. 25	
	救 急 自 動 車	ト ヨ タ 3BF-TRH226S	R3	R3. 1. 15	高規格救急車 西A1
	救 急 自 動 車	ト ヨ タ CBF-TRH226S	H28	H28. 9. 23	高規格救急車 西A2
	救 急 自 動 車	ト ヨ タ CBF-TRH226S	H22	H22. 2. 18	高規格救急車 西A3
東 消 防 署	水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野 SDG-GX7JGAA 改	H23	H23. 12. 26	水 I -A型 A2級 CAFS付
	消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野 TKG-XZU685	H26	H26. 2. 12	CD- I 型 A2級 CAFS付
	指 揮 車	日 産 エクストレイル	H28	H28. 12. 19	
	救 急 自 動 車	ト ヨ タ CBF-TRH226S	R2	R2. 2. 25	高規格救急車 東A1
	救 助 艇	ヤ マ ハ	H18	H18. 1. 14	

消防車両等の配置状況

令和4年4月1日現在

車両種別 所属別	救助 工作車	化学 消防車	ポンプ 自動車	水槽付 消防車	ポンプ 自動車	救急 車	指揮 車	団指 揮車	査察 車	広報 車	連絡 車	救助 艇	資機材 搬送車	合 計
消防本部						1	1	1	1	1		1		6
西消防署	1	1	1	1	3	1								8
東消防署			1	1	1	1					1			5
計	1	1	2	2	4	3	1	1	1	1	1	1		19

消防水利の現況

令和3年度

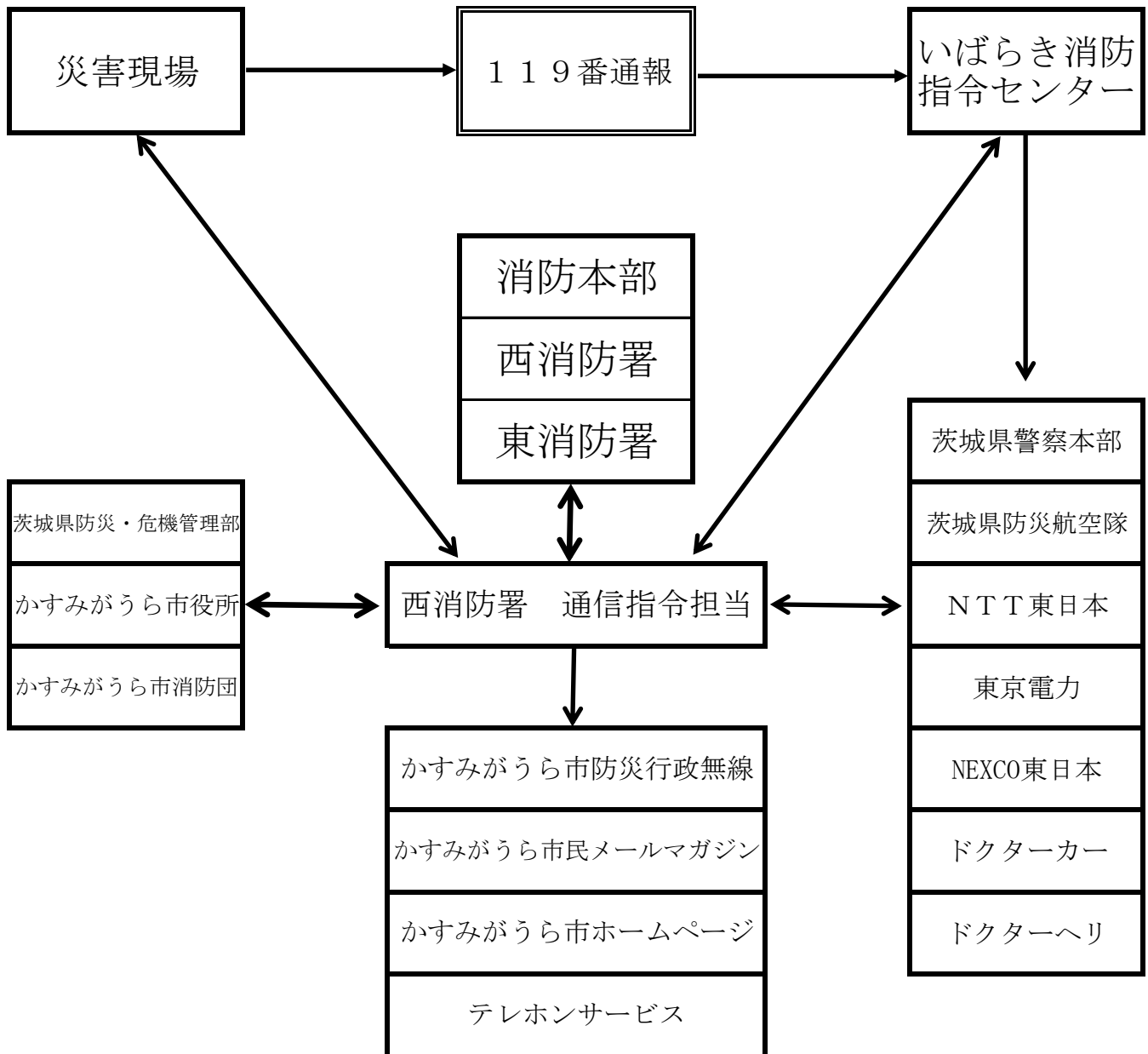
種 別		かすみがうら市	
消 火 栓	公 設	1,089	
	私 設	0	
	計	1,089	
防 火 水 槽	公 設	100 m ³ 以上	2 (1)
		60～100 m ³ 未満	30 (19)
		40～60 m ³ 未満	354 (146)
		20～40 m ³ 未満	57
		20 m ³ 未満	251
	私 設	100 m ³ 以上	9 (1)
		60～100 m ³ 未満	8 (2)
		40～60 m ³ 未満	134 (96)
		20～40 m ³ 未満	18
		20 m ³ 未満	5
	計		868 (265)
その他	河 川・ 溝 等	14	
	プ ー ル	9	
	濠 ・ 池 等	14	
	計	37	
合 計		1,994 (265)	

() 内は耐震性防火水槽

通信指令装置の機器構成表状況

	機 器 名 称	備 考
消 防 本 部 ・ 西 消 防 署	1 衛星携帯電話（１台） 2 遠隔制御装置（全基地局対応可能） 3 署所端末装置（一式） 4 無線指令受令装置（一式） 5 指令伝送出力装置（一式） 6 指令伝送出力装置用プリンタ（一式） 7 情報共有端末装置（署所設備）（一式） 8 ４０型液晶表示盤（一式） 9 車両運用支援システム・端末装置（一式） 10 車両運用支援システム・署所用無停電電源装置（一式） 11 車両運用端末装置（Ⅲ－１型）（１０台） 12 車外設定端末装置（１か所）（３台） 13 車外設定端末装置（２か所）（４台） 14 可搬型移動局無線装置（１台） 15 車載無線（１０台） 16 携帯無線機（１４台） 17 署轄系無線機（３０台）	
東 消 防 署	1 衛星携帯電話（１台） 2 卓上型固定移動局無線装置（１台） 3 署所端末装置（一式） 4 無線指令受令装置（一式） 5 指令伝送出力装置（一式） 6 指令伝送出力装置用プリンタ（一式） 7 情報共有端末装置（署所設備）（一式） 8 ４３型液晶表示盤（一式） 9 車両運用支援システム・署所用無停電電源装置（一式） 10 車両運用端末装置（Ⅲ－１型）（４台） 11 車外設定端末装置（１か所）（１台） 12 車外設定端末装置（２か所）（２台） 13 可搬型移動局無線装置（１台） 14 車載無線（４台） 15 携帯無線機（６台） 16 署轄系無線機（１０台）	

消防通信系統図



無 線 一 覧

配置	種類	呼 出 名 称
本 部	基 地	しょうぼうえんかくかすみがうら
東 署	〃	かすみがうらひがしこてい 1
本 部	移 動（車載）	かすみがうらほんぶゆそう 1
〃	〃	かすみがうらほんぶしき 1
西 署	〃	かすみがうらにししき 1
〃	〃	かすみがうらにしたんく 1
〃	〃	かすみがうらにしぽんぷ 1
〃	〃	かすみがうらにしたんく 2
〃	〃	かすみがうらにしきゅうじょ 1
〃	〃	かすみがうらにしきゅうきゅう 1
〃	〃	かすみがうらにしきゅうきゅう 2
〃	〃	かすみがうらにしきゅうきゅう 3
東 署	〃	かすみがうらひがしたんく 1
〃	〃	かすみがうらひがしぽんぷ 1
〃	〃	かすみがうらひがししき 1
〃	〃	かすみがうらひがしきゅうきゅう 1
本 部	移動（可搬型）	かすみがうらほんぶ 6 0 1
東 署	〃	かすみがうらひがし 6 0 1
本 部	携 帯	かすみがうらほんぶ 2 0 1
〃	〃	かすみがうらほんぶ 2 0 2
〃	〃	かすみがうらほんぶ 2 0 3
西 署	〃	かすみがうらにしたんく 1 0 1
〃	〃	かすみがうらにしたんく 1 0 2
〃	〃	かすみがうらにしたんく 1 0 3
〃	〃	かすみがうらにしぽんぷ 1 0 1
〃	〃	かすみがうらにしぽんぷ 1 0 2
本 部	〃	かすみがうらほんぶしき 1 0 1
西 署	〃	かすみがうらにしきゅうじょ 1 0 1
〃	〃	かすみがうらにしきゅうじょ 1 0 2
〃	〃	かすみがうらにしきゅうきゅう 1 0 1
〃	〃	かすみがうらにしきゅうきゅう 1 0 2
〃	〃	かすみがうらにしきゅうきゅう 1 0 3
東 署	〃	かすみがうらひがしたんく 1 0 1
〃	〃	かすみがうらひがしたんく 1 0 2
〃	〃	かすみがうらひがしぽんぷ 1 0 1
〃	〃	かすみがうらひがしぽんぷ 1 0 2
〃	〃	かすみがうらひがし 2 0 1
〃	〃	かすみがうらひがしきゅうきゅう 1 0 1

気 象 状 況

気温(℃)

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
最 高	16.3	22.0	21.7	25.3	27.3	30.3	34.1	36.0	30.1	29.1	21.5	17.9
最 低	-8.2	-5.1	-1.1	1.7	6.7	14.4	18.8	18.2	13.8	2.7	-1.1	-5.6
平 均	3.5	6.3	10.8	13.2	18.3	21.6	24.7	26.4	21.3	16.7	11.5	5.7

湿度(%)

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
最 高	96.6	98.3	98.3	98.3	98.6	98.6	99.1	99.1	99.4	99.1	99.1	98.3
最 低	15.5	16.1	15.5	11.1	16.1	34.1	42.5	36.6	42.4	33.8	26.9	21.3
平 均	62.0	51.3	68.2	64.6	75.9	80.5	86.1	83.8	84.8	82.0	74.9	68.0

風速(m/s)

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
瞬 間 最 大	23.4	22.7	17.4	23.8	17.3	16.7	14.1	19.3	10.5	15.5	15.3	21.2
平 均	1.5	1.9	1.3	1.7	1.4	1.1	0.9	1.4	1.0	1.0	0.9	1.5

降水量(mm)

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
月間合計	26.0	69.5	116.0	136.5	61.0	91.0	219.0	244.0	95.5	142.0	39.0	141.0	1,380.5

消 防 団

- 1 分団別人員配置状況
- 2 階級別年齢状況
- 3 担当地区及び詰所・車庫
- 4 配置車両

分団別人員配置状況

令和4年4月1日現在

階 級 分 団	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	合 計
団 本 部	1	4	10	10				25
本部付女性消防団員					1	1	17	19
第 1 分 団					2	4	33	39
第 2 分 団					2	4	52	58
第 3 分 団					2	4	48	54
第 4 分 団					3	6	54	63
第 5 分 団					2	4	34	40
第 6 分 団					2	4	37	43
第 7 分 団					2	4	26	32
第 8 分 団					2	4	30	36
第 9 分 団					2	4	47	53
第 10 分 団					2	4	37	43
合 計	1	4	10	10	22	43	415	505

階級別年齢状況

令和4年4月1日現在

階 級 年 齢	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	合 計
18 ～ 20 歳								0
21 ～ 25 歳							7	7
26 ～ 30 歳							31	31
31 ～ 35 歳					2	4	38	44
36 ～ 40 歳				1	5	13	98	117
41 ～ 45 歳			1		8	21	124	154
46 ～ 50 歳			1	6	5	4	83	99
51 ～ 55 歳		1	5	3		1	26	36
56 ～ 60 歳			3			1	8	12
61 歳 以 上	1	3			1			5
合 計	1	4	10	10	22	43	415	505

担当地区及び詰所・車庫

分団	部	担当地区	施設所在地	面積(㎡)	構造	建築年	敷地所有	建物所有
1	1	中佐谷・下佐谷	下佐谷663-5	66.72	鉄骨造2階建	平成11年	私有	私有
	2	山本・上佐谷・雪入	上佐谷1854-5	79.48	木造2階建	平成27年	市有	市有
2	1	大峰・横堀・五反田・上志筑・上佐谷の一部	五反田329-1	79.49	木造2階建	平成24年	私有	市有
	2	中志筑・下志筑・高倉・栗田	中志筑1322	76.40	木造2階建	平成25年	私有	市有
3	1	西野寺・西野寺中根・東野寺・市川	西野寺51-4	78.65	木造2階建	平成26年	市有	市有
	2	上土田・下土田・中郷谷・飯田・下稲吉の一部・新治の一部	上土田930	76.40	木造2階建	平成25年	私有	市有
4	1	逆西1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11・角来・稲吉東1, 2, 3, 第2千代田南団地・シディーナ神立	稲吉2-2613-446	79.50	鉄骨造2階建	平成13年	市有	私有
	2	下原・下稲吉, 2, 3, 向原, 5, 旭・大塚団地・大塚東団地 グリーンランド	稲吉南3-2081-5	63.99	鉄骨造2階建	昭和60年	私共有	私有
	3	清水・上稲吉・馬立	上稲吉4-2	76.40	木造2階建	平成25年	市有	市有
5	1	西成井上宿・横町・下宿・馬場・馬場山・小原・新宿・天王町・堂山・上軽部・荻平本郷・荻平・三ツ谷風返・原巻	穴倉1658-1	57.96	木造2階建	昭和62年	市有	市有
	2	天神・飯岡・天神第1・希望ヶ丘・東宝ランド・かんだつ住宅・市木免・鹿野山, 2・新生・金川・南野・巽台・大和・共栄・東京製綱	穴倉6114-1	74.52	木造2階建	平成5年	私有	市有
6	1	北ノ坊・平・高賀津・風返・田子内・中道・小津・宮下	安食1074-1	58.09	木造2階建	平成元年	市有	市有
	2	柏崎先浜, 上宿, 下宿, 横町・富士見台・芝久保・小常・田端・新屋敷・下高野・下軽部・出戸	柏崎936-1	57.96	木造2階建	平成4年	市有	市有
7	1	山田・石田・後路・根本前原・北前原・横須賀・沖ノ内・田伏中台・上根・霞	田伏1617-3	66.24	木造2階建	平成4年	私有	市有
	2	志戸崎西1, 2, 3, 中, 東1, 2・坂有河・坂東・上東・二ノ宮・大寿・西方・折越・大平	坂4784	57.96	木造2階建	平成2年	官有	市有
8	1	八田・兵庫峰・房中・牛渡上郷・千鳥ヶ丘・緑ヶ丘・霞台 上高谷1, 2, 3	牛渡2622-1	57.96	木造2階建	昭和62年	私共有	市有
	2	牛渡下郷・外葉・宮馬場・松崎・根山・浜・有河・柳梅	牛渡4507-1 牛渡4507-3	60.07	木造2階建	平成4年	私有	市有
9	1	八千代台・堤・毘沙門堂・深谷1, 2, 3・深谷団地・深谷上郷 下原・幕田・深谷下郷・南根本・三ツ木・上大堤	深谷3660-7	車庫 34.78 詰所 31.82	鉄骨造平屋建 木造平屋建	昭和60年	市有	市有
	2	大和田・大成・四ヶ村・中台・男神・牧ノ内・牧ノ内第2 西原自治会	大和田187 大和田197-1	57.96	木造2階建	昭和62年	私共有	市有
10	1	赤塚東・赤塚西・田宿・崎浜・平川・川尻・松本・御殿	加茂3331-1	41.41	木造2階建	平成7年	私有	市有
	2	戸崎・大前・戸崎原・内加茂・加茂団地	加茂5020-1	57.96	木造2階建	平成2年	私有	市有

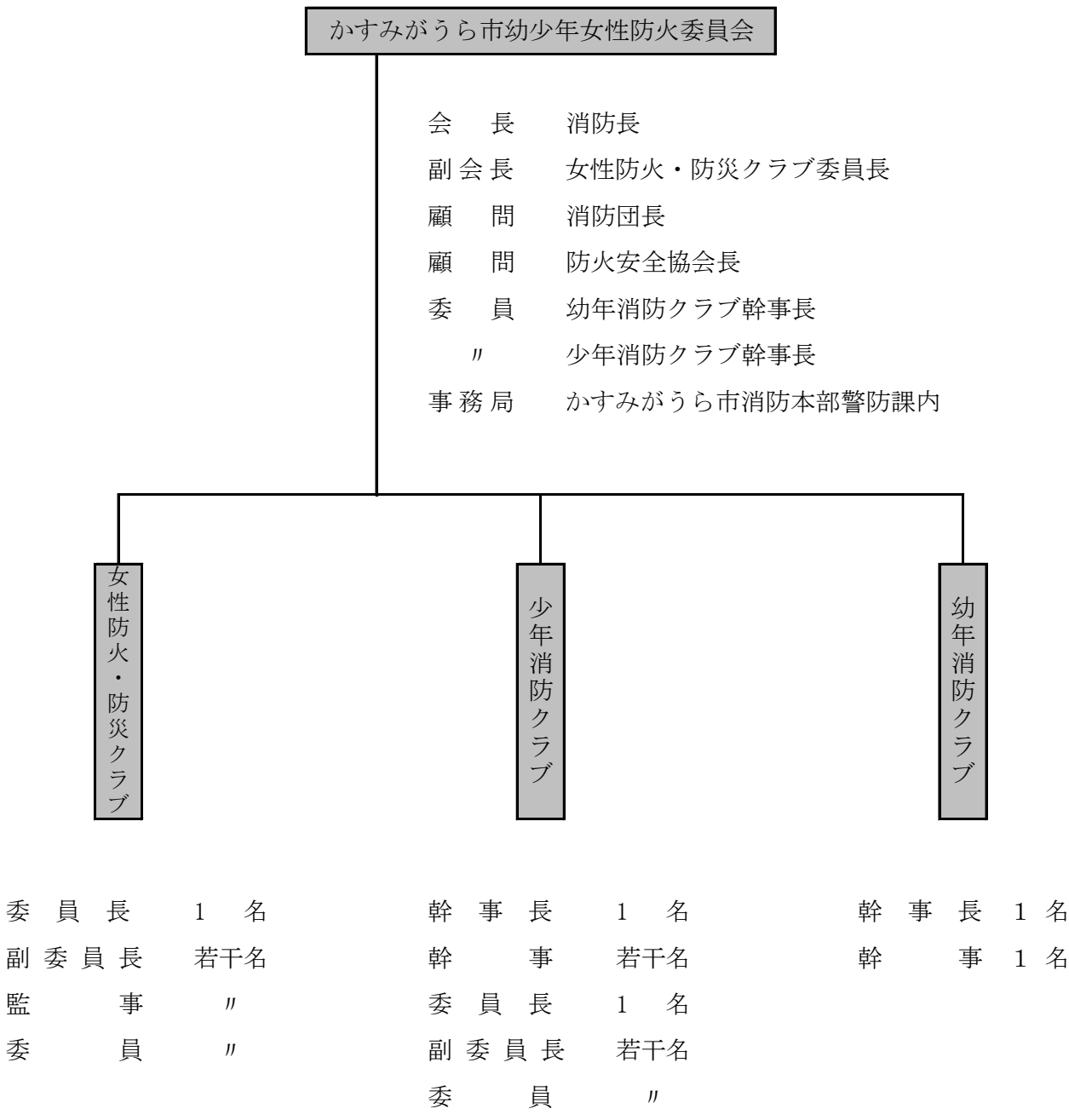
配置車両

分団	部	車 名	種 別	ポンプ製造所	型 式	性 能	規 格 (c m)			総重量 (k g)	総排気量 (ℓ)	燃料	登録年月日
							長さ	幅	高さ				
本部		日産 キャラバン	団指揮車	—	—	—	523	188	244	2,670	2.48	ガソリン	平成30年12月21日
1	1	いすゞ エルフ	ポンプ自動車	モ リ タ	CD-1	A-2	546	188	245	4070	4.77	軽油	平成16年12月20日
	2	日産 アトラス	小型ポンプ積載車	トーハツ	—	B-2	494	169	230	2590	1.99	ガソリン	平成21年10月21日
2	1	いすゞ エルフ	小型ポンプ積載車	シバウラ	—	B-2	500	169	235	2730	3.05	軽油	平成16年2月18日
	2	いすゞ エルフ	ポンプ自動車	モ リ タ	CD-1	A-2	548	188	245	4100	4.77	軽油	平成16年2月20日
3	1	いすゞ エルフ	ポンプ自動車	モ リ タ	CD-1	A-2	548	188	240	4080	4.77	軽油	平成15年2月4日
	2	いすゞ エルフ	小型ポンプ積載車	シバウラ	—	B-2	492	169	230	2670	3.05	軽油	平成17年3月2日
4	1	いすゞ エルフ	ポンプ自動車	モ リ タ	CD-1	A-2	548	188	245	4100	4.77	軽油	平成16年2月10日
	2	いすゞ エルフ	ポンプ自動車	モ リ タ	CD-1	A-2	548	188	240	4080	4.77	軽油	平成15年2月4日
	3	いすゞ エルフ	ポンプ自動車	モ リ タ	CD-1	A-2	546	188	245	4070	4.77	軽油	平成16年12月20日
5	1	いすゞ エルフ	小型ポンプ積載車	シバウラ	—	B-2	492	169	230	2670	3.05	軽油	平成17年3月2日
	2	トヨタ ダイナ	ポンプ自動車	モ リ タ	CD-1	A-2	567	188	250	4240	4.00	軽油	平成19年12月3日
6	1	日産 アトラス	小型ポンプ積載車	シバウラ	—	B-2	490	169	225	2550	1.99	ガソリン	平成19年12月3日
	2	日野 デュトロ	ポンプ自動車	モ リ タ	CD-1	A-2	567	188	247	4340	4.00	軽油	平成20年6月26日
7	1	日産 アトラス	小型ポンプ積載車	シバウラ	—	B-2	500	169	225	2600	1.99	ガソリン	平成22年3月18日
	2	日野 デュトロ	ポンプ自動車	モ リ タ	CD-1	A-2	570	188	250	4250	4.00	軽油	平成21年3月9日
8	1	いすゞ エルフ	救助資機材搭載型 ポンプ自動車	モ リ タ	CD-1	A-2	555	188	245	4730	2.99	軽油	平成26年11月21日 無償貸付
	2	日産 アトラス	小型ポンプ積載車	シバウラ	—	B-2	490	169	225	2550	1.99	ガソリン	平成20年6月26日
9	1	いすゞ エルフ	ポンプ自動車	モ リ タ	CD-1	A-2	555	188	240	4220	4.77	軽油	平成15年3月19日
	2	日産 アトラス	小型ポンプ積載車	シバウラ	—	B-2	490	169	225	2550	1.99	ガソリン	平成19年12月3日
10	1	いすゞ エルフ	ポンプ自動車	モ リ タ	CD-1	A-2	570	188	255	4450	4.77	軽油	平成18年3月17日
	2	日産 アトラス	小型ポンプ積載車	シバウラ	—	B-2	490	169	225	2550	1.99	ガソリン	平成19年12月3日

防 火 団 体

- 1 かすみがうら市幼少年女性防火委員会の組織
- 2 クラブ設置状況
- 3 かすみがうら市防火安全協会

かすみがうら市幼少年女性防火委員会の組織



クラブ設置状況

令和4年4月現在

ク ラ ブ 名		設 立 年 月 日	クラブ員数
幼 年 消 防 ク ラ ブ	わかぐり保育所幼年消防クラブ	昭和58年4月27日	12名
計	1 ク ラ ブ		12名
少 年 消 防 ク ラ ブ	千代田義務教育学校少年消防クラブ	令和4年4月15日	51名
	霞ヶ浦南小学校少年消防クラブ	平成28年5月9日	51名
	霞ヶ浦北小学校少年消防クラブ	平成28年5月10日	50名
計	3 ク ラ ブ		152名
女性防火 クラブ	霞ヶ浦地区女性防火・防災クラブ	昭和55年11月20日	26名
計	1 ク ラ ブ		31名
合計	5 ク ラ ブ		195名

かすみがうら市防火安全協会

所在地	茨城県かすみがうら市上土田501番地 かすみがうら市消防本部予防課内	
沿革	昭和53年11月16日	新治地方広域危険物安全協会設立
	平成18年2月20日	市町村合併により，かすみがうら市危険物安全協会と名称変更
	平成25年4月26日	かすみがうら市危険物安全協会とかすみがうら市防火管理協会が統合し，かすみがうら市防火安全協会と名称変更
目的	事業所における危険物施設の安全管理及び危険物に起因する事故防止並びに，防火管理及び危険物に起因する事故防止並びに，防火管理の徹底と防火意識の高揚を図り火災等による災害の防止に努め，かすみがうら市内における会員相互の親睦・融和を図るとともに，事業の健全なる振興発展と社会公共の福祉の増進に寄与すること。	
事業内容	・ 危険物の貯蔵取扱に関する研究改善及び防火管理の普及啓発事業 ・ 各種講習会，防火・防災教育，消防訓練及び視察研修事業 ・ 関係法令の研究及び周知徹底 ・ 関係図書の購入，頒布及び斡旋 ・ その他，本会の目的を達成するために必要な事業	
会員総数	103事業所 令和3年3月31日現在	